大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

# 新京日日新聞

夕刊　九月七日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税 一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三一二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

# 皇太神宮のお守札で危い一命を取り止む
## 心臓部に當つた彈丸はへし曲る
## 神國日本の有難さに感激

遠くは日清日露の役、近くは滿洲事變に於て皇軍出征將兵はいづれも身に皇太神宮或は出身地鎮守乃至は弓矢八幡のお守りをしつかと肌身につけその神佛の御加護により身命を全うした奇蹟は枚擧に遑なく戰史に綴づられており今更ながら神國日本の有難さに自づと頭の下るを覺へる、これは極く最近の話であるが八月廿二日小川部隊は約六十名の兵力をもつて濱江省延壽、方正縣境附近の肅正中約八十名の匪賊と遭遇、直ちに交戰猛烈な拂曉戰のかち漸くこれを撃退し林上等兵、藤原二等兵は逃ぐる匪賊を追撃中匪賊は勝手知つた要害を利用して二十米の近距離から猛射をあびせ藤原二等兵は不幸心臓部に敵彈をうけ人事不省に陥り、林上等兵の手當にて蘇生、直ちに着衣を脱がせて見ると彈丸は洋服を貫ぬきシャツのポケットに入れてあつた財布の奥に奉戴してゐた、皇太神宮のお守りに當り彈丸はへし曲り身には過擦傷だにうけてゐなかつた

これ全く神のお加護にほかならずと同部隊一同遙かに皇太神宮を遙拜して

### 神恩

に感謝してゐるとか、なほ藤原二等兵は三重縣出身で皇太神宮のお守りは郷里を出るとき頂いて以來朝夕肌身離さず奉戴してゐたものである【寫眞は（上）お守り札とへしまがつた彈丸その他（下）右が藤原二等兵】

# 滿鐵の機構改革實施
# 十月一日に內定
## 青木次長認可方を命ず

【大連國通】滿鐵の機構改革案は青木對滿事務局次長の新京滯在を機に大村副總裁、中西總務部長が新京に赴き詳細に說明した結果、改革案及び最高人事に關して全面的諒解を求めたので青木次長は直ちにこの旨對滿事務局に打電して認可の手續きを命じた、從つて右改革案は東京に於て說明の要なく單に認可の手續きをとるのみとなつたので豫定通り發表は十五日實施は十月一日と殆ど決定的となつた

## 機構改革後の
### 滿鐵の新會社組織

【大連國通】滿鐵機構改革後の會社組織は左の通りと確聞する

一、總裁直屬機關
總裁室（總務部を廢止し東亜課、監理課を含む）
一、經理部（會計課、主計課、庶務課）
一、産業部（現地方部の農務商工兩課、計畫部、經濟調査課、資料課を合併）
一、地方部（農務、商工兩課を分離し昭和十二年中に滿洲國政府及び日本政府へ移管すべき地方、學務、衞生課を殘す）
一、用度部（新設）
一、鐵道總局
一、東京支社
一、天津事務所
一、新京事務所
一、撫順炭鑛
一、經濟調査委員會

以上の組織に見る如く鐵道部は奉天に移轉して鐵道總局に投合し、商事部は獨立の商事會社として分離するのであるが、ニューヨーク、パリ兩事務所は總裁室の管轄に屬し明年の地方部解消後沿線の病院、一部の水道は鐵道總局の所管に、農事試驗所其他の勸業施設は産業部の管轄下に入る、久しく鐵道部と總局間に意見の一致をみなかつた鐵道總局職制は今回の改革の根幹を爲すものとして愼重研究の結果總局長直屬の四課と營業部、機務部、經理部、工務部、警務部の五部を設置するに決定行惱みの社線經營方式は當分大連、奉天の兩鐵道事務所を存續して社線經營に當らしめ明年四月頃兩事務所を合併して奉天に鐵道局を新設し社線經營に任ずる事となつた

### 大村總局長確定

【大連國通】新設をみるべき鐵道總局の最高人事に就ては各方面から注目を惹いてゐたが、今回大村副總裁が關東軍及び青木對滿事務局次長等と協議の結果、大村副總裁自身總局長として全滿鐵道の綜合經營に任じ、總局長の下に事務と技術の二次長を置くに決定、事務次長に宇佐美理事、技術次長に佐藤理事が就任する事確定となつた

# 成都
上　武裝下の成都大川旅館
下　破壞されたる成都大川旅館內部

# 成都事件に驚くべき新事實
## 外人側より發覺

【上海六日發國通】漢口來電によると成都事件に關し外人側の調査によれば左の如き驚くべき新事實が發見され、重傷者の手當すらも拒否する如き慘虐沒義道な行爲が白日下に暴露された、而して支那側が極力隱蔽するにも拘らず中央政府の煽動並に米國系學生が暴徒のリーダーたりし事を外人側でも認めてゐる點は注目さるべきである

一、日本人虐殺暴徒のリーダーは成都にある米國系ウエスト・チャイナ・ユニオン大學生數十名にして該校は未だ開校不可能で暴徒學生は九月の第二學期に入るも何處にか姿を晦ました

二、大川旅館に隣する支那軍隊の如きは暴徒來襲の際全く拱手傍觀何等之を阻止する行動をとらなかつた

三、遭難重傷者の一人がカナダ・メソジスト病院に收容され治療を受ける際同病院勤務の支那人看護婦等は「敵人に治療するなら自分等はストライキを起す」と院長を脅迫、更に「此病院も之が爲襲撃されるだらう」と謠言を放つた爲病院は重傷者を督辦公署に移した

四、四川當局は中央の命により日本の總領事館再開並に物資調査を極力阻止すべく努めつゝあつた

# 在中國日本人記者團が
## 言論の共同戰線

【上海六日發國通】成都事件を契機として全中國の日本人新聞記者は一齊に蹶起し國民政府の責任を詰問すると共に我政府當局を鞭撻激勵、精神的團結力の偉大なる事を世界に向つて表明したが之を機會に中國全土にある日本人新聞記者の全般的組織を結成し共通の利害を有する在支日本人記者全員が縱横にがつちりと組んで凡ゆる方面へ共同戰線を張る必要があるとの議が擡頭し、五日午後一時日本人倶樂部で開かれた上海日本人新聞通信記者聯合會でこのことを論議の結果近く在支日本人新聞通信記者聯盟と云つたものを組織、南京、漢口天津、北平、青島、廣東に派遣されてゐる新聞記者の團體へ呼びかけることゝなつた、成都事件に斃れた同業者の二名の尊き殉國をして有意義ならしむる最も時宜を得た企てとして各方面よりの反響あるものと期待されてゐる

# 陸相の要望で
## 政府無任所大臣設置を考慮

【東京國通】政府は過般決定した重要國策の具體化を急いでゐるが

### 就中

行政機構の整備改善に就てはその處置に關し頗る苦慮して居る、即ち右問題は現內閣が組織當初の聲明に於て改革の意思あることを明言して居るが其後政府の國策綱目決定に際し寺內陸相は廣田首相、馬場藏相と會見し强硬に陸軍側の意向を傳へて單に政策遂行上必要に應じた程度に止まる事なく眞に庶政一新の見地から現行行政制度の革新を斷行し內閣制度の改革、無任所大臣設置等も積極的に考慮されたい旨要望した、然し乍ら無任所大臣設置には樞府方面に反對の聲あり又運營如何では人のために官を設ける事にもなるので首相、藏相は頗る愼重な態度を持してゐたが、最近に至り政府首腦部の一部に於て右陸軍の意向を察知し秘かに無任所大臣設置に就ても考慮してゐる模樣である、從つて陸軍の豫算概算提出を機にして

### 政府

は無任所大臣問題に對し何等かの意思表示をなすもとみられその成行は注目されるに至つた

# 第三次滿蒙會議の出席者十五日出發
## 先着して外蒙代表を待つ

來る二十五日滿洲里で開催に決定した第三次滿蒙會議に於ける我が滿洲側代表與安北省警備軍司令官烏爾金將軍、興安北省省長額爾欽邊圖氏、外交部政務司長矢野征記氏、同囑託菊竹稻穗氏等は隨員一行と共に十五日新京を出發滿洲里に先着して外蒙側代表の到着を待つ事となつた

## 人事往來

▲酒井鐵路局總務處長　七日午前八時五十分來京
▲近藤一郎氏（請負業）七日午前圖們へ
▲植田安三氏　同公主嶺へ
▲小林英一氏（軍囑託）同來京國都ホテル
▲岡本島太郎氏（商業）六日午後圖們へ
▲荒井緣氏（奉天市公署）同ハルビンへ
▲吉村恂氏（大陸化學院）同奉天へ
▲熊野久作氏（奉天市公署）同
▲宮田天堂氏（冀東自治政府）同大連へ
▲王崍裕氏（日本生命朝鮮支店長）同奉天へ
▲黒田啓氏（實業家）同內地へ
▲村上國平氏（滿鐵）同大連へ
▲横山五郎氏（銀行員）同奉天へ
▲內田榮喜氏（陸軍少佐）同來京國都ホテル
▲齋藤藤作氏（三井物産）同
▲宮本九郎氏（大林組）同
▲大橋與造氏（商業）同
▲村博氏（櫻ビール取締役）同
▲岩谷民之助氏（同奉天支店長）同
▲三宅三郎氏（農林省）同
▲木村和藏氏（東大教授）同
▲渡邊得男氏（日本ビール取締役）同
▲川村太郎次氏（農林省）同
▲比江島師孝氏（同）同
▲參木晋七郎氏（同）同
▲佐々木四郎氏（滿鐵）同國際ホテル
▲和田壽夫氏（大東精神科學研究所主事）同
▲阿部次郎氏（滿鐵）同
▲佐々木裕治氏（社會事業家）同
▲陶山繁一氏（商業）同國華ホテル
▲山崎悌二郎氏（同）同
▲岸節三氏（工業）同滿蒙旅館
▲飯淵一氏（滿鐵）同
▲前川幸一郎氏（同）同向陽ホテル
▲窪內石太郎氏（鑛業）同
▲田中才藏氏（商業）同旭ホテル
▲大輪正人氏（建築業）同
▲繁野悅司氏（技師）同
▲吳石權一氏（林木商）同中央ホテル
▲鈴木午之助氏（大滿木材社員）同
▲織田金吾氏（織田組社長）同
▲內山一三夫氏（著述業）同
▲三井三子男氏（滿電社員）同
▲若林俊一氏（土木業）同大和新館
▲牛田重郎氏（福昌公司社員）同京都旅館
▲村上飯藏氏（三菱顧問）同ヤマトホテル
▲平井環氏（滿鐵々道部）同
▲藤原喬氏（東拓農業課長）同
▲築島信司氏（國際運輸〃務）同
▲內田幸夫氏（官吏）同
▲〃山長幸氏（東拓總裁）同
▲窪寺勲氏（同理事）同
▲濱田康吉氏（同總務課長）同
▲檜垣位樓氏（同秘書）同
▲赤木英道氏（滿鐵）同
▲木村盛氏（中央社會事業協會）同
▲福山政一氏（同）同
▲中田覺五郎氏（帝大教授）同
▲渡邊勘次氏（同）同
▲中川喜久松氏（滿鐵）同
▲中島利三氏（音樂家）同富士屋旅館
▲木下秀教氏（滿洲林業公司）同
▲仙田隆造氏（滿鐵）同
▲野村史郎氏（松下電氣社員）同新京ホテル
▲中村實夫氏（商業）同
▲加藤清之助氏（社會事業家）同



## その日く

□
成都事件、いよ〱出でゝいよ〱無法暴露、人道を解せぬ國と民

□
問題の無任所大臣制陸相の要望で實現好望視、閣僚の餘り疲れぬうちがよい

□
第二次滿蒙交渉近く開始、禮をつくして滿洲里先着外蒙代表を待つ、纏まらねば……

□
皇太神宮のお守り札で危き一命をとりとむ、神國日本を顯現

□
秋漸く深からんとして死を急ぐ青年あり、物をこそ思へとはいへまだ年若くして

# 乳房ある悲み
（續上演上映）
中西伊之助　作
泉武久　畫
（百四十九）
青春の絞首臺（一）

『――子の罪は親に在る、弟子の罪は師に在る、人民の罪は國家に在る、その責任あればこそ、親といひ、師といひ國家といふのぢや、恐れ多いが明治大帝は仰せられた――罪あればわれを罰せよ天つ神民はわが身の生みし子なれば――さな、わしは世の中に子を持つた親達が、かうした心にならねばならぬと思ふてゐる。いや、親ばかりではない人の師となり、人の政治を預かる政治家は、みんなこの心がなくてはならぬと思ふてゐる。だからわしは決してお前を責めぬ』

『な萬里、わしはお前の前に兩手をついて詫びる。わしは大垣家のためにお前に心にもない結婚をせよといつたのが惡かつたのぢや、だがもうい、、もうわしは決してそんなことをお前に強ひぬ、無理もない、十九や二十の娘が五十近くもなつた老人と結婚はできるものでない、いや、政治家としてはその年頃はまだ青年ぢや、これからが花ぢや、しかしそんなことをお前にいふてみても仕方がない、緑髪紅顔の本當の青年がお前にふさはしい配偶ぢや、お前は好配をえらんで結婚するがえゝ、だがこの前もいふ通り、決して不良青年や前科者などを夫に持つてはならぬぞ、たとひお前がそんな男と一時は結婚しても、それは決して長つづきのするものでない、いつかきつとすてられてしまふ、それも一人身なればえゝが、姙娠をしたり、子供があつたりした時はそれこそ悲慘ぢや、よく子供を背負つて鐵道自殺なぞするものがあるが、それはみんなそんな男にすてられたためぢや、わしはお前にそんな末路をさせたくない、これは親の慈悲で、これだけはわしは呉れ〲もいふて置く

『……』

『……』

諭々として解く父の言葉に萬里子は新しい涙を流すより外はなかつた。

『たとひ荷車曳きでもえゝ、眞正直な男を夫にしてくれ、な、萬里?これだけはお父さまはお前にたのんで置くぞ……それでないと、わしは死んだお母さまにたいして申しわけがない、お母さまはなア、臨終の床でわしの手をしつかりと握つて、萬里と登美をおたのみいたします、わたしはそればかりが氣がかりで、あの世へ行つても迷ひますといふた。……』

父はまだ言葉をつゞけるのであつた。

『わしはその時お母さまにいふた、心配するな、二人はきつとわしの手で立派な女に育て上げる、だからどうぞ迷はずに行つてくれとな、するとお母さまは、さびしくほゝ笑んで、どうぞおたのみいたします、そして二人が立派な夫を持つた時は、それを寫眞に取つてわたしのお墓に供へて下さい、それを草葉の蔭で待つてをりますとな、そして……』

さ、いつた時、父はもう悲しみのために聲がつゞかなかつた、そしてハラハラとその老いた眼から輝く涙の玉を迸らせた。

『お父さま、御免下さいませ!』

萬里子は、新しく咽び泣いて、父の膝にすがりついた。その背の上に父の涙が血のやうに落ちた。

父娘は、しばらく互にいだき合つて忍び泣きをしてゐた。

『お父さま……』

萬里子はやつと顔をあげた。そしてまた、

『……あの、お家は差押さへられたのですか……』

『うむ……』

父は頷いた。

新京區公示第十九號
新京區附屬地區長淸水末一氏ハ一身上ノ都合ニヨリ其ノ職ヲ辭セルヲ以テ後任ニ柴田正氏ヲ指名セリ
昭和十一年九月七日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　武田胤雄

| 擔當區域 | 異動年月日 | 國籍 | 住所 | 職名 | 氏名 | 記事 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 中央區 | 昭和十一年八月三十一日 | 日本 | 新京中央通三 | 通信業 | 淸水末一 | 辭任 |
| 同 | 昭和十一年九月一日 | 同 | 新京蓬萊町一、六 | 建築請負 | 柴田正 | 就任 |

# 秋冷哀愁を誘ひ 二邦人青年自殺
## 昨夕刻北と南の鐵路目がけて
## 身元、原因等は不明

秋冷を覺へる六日黄昏どき前後して新京で邦人青年の鐵道自殺事件が二つ、そゞろ秋の哀愁をそゝつた……

**京濱線** 小南信號所新京驛間(新京北方約四キロ)のカーブの地點をハルビン發新京ゆき貨物第六百六十二列車が驀進中左側草原の中に一人しよんぼり佇んでゐる青年を青木機關士が認め急停車を試みたが既に遲く列車目がけて飛込み自殺を圖つた、男は前額部を强打昏睡狀態に陷つたまゝ直ちに新京○院に擔ぎ込み應急手當を施す間に午後六時卅七分死亡した、同青年は年齡二十二三歳で黑セル學生服(釦は大豆模樣の中に「商」の文字あり)を着し、白皮帶、黑皮短靴、身長五尺三寸位、遺留品は内ポケットからアダリン二錠、黑皮製蟇口現金五圓紙幣五十錢その他とり混ぜ七圓位ジヤツクナイフ一個、府中下本町正直屋製の眼鏡拭き一枚だけで身元全然不詳で死體は居留民會で假埋葬した

×

**同日の** 午後六時四十分ごろ營口發新京ゆき旅客列車が新京興安橋東方約二丁の地點を通過の際南側堤から列車目がけて飛込み自殺を圖つたものあり列車は急停車したが間に合はず胸部を眞二つに轢斷され即死を遂げた急報に接し新京署から井田司法次席、平井、井上係員現場の臨檢を行つた結果自殺者は年齡廿七八才、中肉色白、角顏、頭髮はオールバツク靑衣は白のコツク衣、白ワイシヤツ、黑蝶ネクタイ、黑皮短靴身長五尺四五寸の一見コツク風の邦人とみられこれ亦所持品とて一物なく全然身元不詳でたゞコツク衣に洗濯屋に出した時の記號にサ、オカつるや本店山本とかグリルサヽオカとある、心當りのものはそれぞれ至急新京總領事館警察署及び新京署司法係まで申出られたいと

# カメラハイキング 自由型に變更
## 十三日日曜の郊外賑はん

本社主催第一回カメラハイキングは同好者間に一大センセイションを起し我れも〳〵と參加者殺到花々しくそのスタートを切る可く整備しその日を待つてゐたが折からの惡天候に第一日曜日はむなしく結局來る十三日第二日曜日に延期する事となつた、然しその頃はもつとも好適の秋氣を增し返つてカメラマンにとつて絕好の時機と思はれるこれがためより以上の參加者を募る可く、作品規則の一部を變更し形は自由型と言ふ事に決定した、この好機會を逸せずカメラ御持參の方は奮つて應募される樣希望する、なほ申込は本社事業部電話(3)三八八〇番又は市內各寫眞機材料商店へ

## 使用人盜む

新京特別市大經路十七號通鎭店谷履物食料店、鹽川菓子化粧品店では五日午後十一時閉店後から六日午前六時までの間に裏口から賊が忍び込み罐詰、日本酒、キヤラメル、せんべい、草履、下駄その他六箱時價三百五十圓が盜まれてゐるのを發見、屆出に接した新京總領事館警察署では極力犯人搜查中のところ七日午前十時ごろ谷商店使用人李便昌(二五)の自宅鐵道北に隱してゐたのを發見したが犯人李は七日午前五時ごろ逃走したが谷口城口兩刑事は城內、鐵道北を嚴重搜査中で近く逮捕されるらしい

## 慰問袋好成績

僻遠の地に苦鬪をつゞけてゐる我等が部隊に慰問袋を送れの大旆を揚げて滿鐵新京地方事務所が主催となり全市民から募つた慰問袋は市民の赤誠といろ〳〵のエピソードを織々込んで五日の締切までに集つた數は約二千五百個雜誌約五百冊、豫定より一千五百個の增加で係員も銃後のこのあふれる熱誠に感激してゐる、この慰問袋は七日中に包裝を綮り直ちに現地に向け發送する筈である

【寫眞は山と積まれた慰問袋】

# 九・一八記念週間に 建國體操實施
## 協和會首都本部の行事

協和會首都管下各分會では來る十一日より一週間に亘る九一八記念宣傳週間の行事の一つとして建國體操を實施するが、之に先立ちこれが指導者講習會を七日より十日迄四日間、毎日午後二時大同公園中ノ島で行ふことゝなつた

## 國婦創立三周年 記念式典

大日本國防婦人會新京支部創立三周年記念並に四分會々旗授與式は九日午後一時から西公園誠忠碑前に於て擧行されるが雨天の場合は日滿軍人會館で行ふ、當日は式後同所で滿洲軍用犬協會新京支部の軍用犬訓練狀況を見學し餘興の實演「體操」等がある、總會式次第は左の如くである

▲開會の辭▲東方遙拜▲國旗揭揚並國歌合唱▲國旗禮拜▲事業報告▲會計報告▲支部役員依囑狀交付▲分會役員依囑狀交付▲分會旗授與▲支部長挨拶▲本部長訓辭▲宣言朗讀▲來賓祝辭(中野總領事代理、武田所長、關東軍兵事部長)▲銃後の花合唱▲閉會の辭

## 協和會新京居留民分會

滿洲帝國協和會新京居留民會分會結成式は八日午後一時から朝日通り在新京日本帝國總領事館構內で左の順序により擧行される

一、開會
二、國旗揭揚
1、日本帝國々旗揭揚 此際君が代合唱 國旗に對し敬禮
2、滿洲國國旗揭揚 此際滿洲國々歌合唱 國旗に對し敬禮
三、回鑾訓民詔書奉讀
四、勅語奉讀(一同敬禮) 松田聯合町內會長 (一同敬禮) 田中民會長
五、協和會綱領闡明 中村聯合町內會副會長
六、分會結成經過報告 江口民會理事
七、分會章程決議(一同擧手贊意を表す) 尾崎評議員
八、分會長推戴(一同拍手) 田中居留民會長
九、分會役員任命(一同拍手) 分會長
十、分會宣言決議(一同拍手) 代田聯合會副會長
十一、會員宣誓 井下評議員
十二、分會長訓詞 分會長
十三、支部長訓詞
十四、首都本部長訓詞
十五、中央本部長訓詞
十六、關東軍參謀長挨拶
十七、來賓祝辭
十八、國旗降下
日本帝國國旗降下(此際奏樂)
滿洲國國旗降下(此際奏樂)
十九、萬歲三唱
大日本帝國萬歲 韓市長 三唱
大滿洲帝國萬歲 中野總領事代理 三唱
二十、閉式の辭
二十一、一同退場

## グライダー受難

【上諏訪國通】霧ケ峰高原でグライダー合宿練習中の學生航空聯盟關東支部霧ケ峰グライダー研究會員法政大學政治經濟科三年立久正治君は六日午後二時頃同高原でグライダーに搭乘、ウキンチに依りスタートし飛行中ワイヤーが操縱席で切斷されない爲め地上でワイヤーを切斷して危險を脫しやうとしたがそのワイヤーが約四分飛行後電柱にひつかゝつて墜落、同君は左足骨折、顏面に負傷した

## 植田總務處長 明朝歸任

內地出張中であつた市公署植田總務處長は今夜歸京の豫定を延期し、明日午前八時五十分着列車で歸任することになつた

## 新京稻荷 秋季大祭

新京稻荷と稱し全滿神社中最古のものとして昔から多數の信者を持つ市內曙町二丁目に鎭座する新京稻荷では八、九の兩日に亘り秋季大祭を執行する事となり八日の宵祭は午後三時より午後十時迄で午後七時よりは奉納余興に美妓連手踊、萬歲、二わ加、舞踊其他素人飛入を希望する由九日の本祭は總日國家安泰心願滿足商賣繁昌の祈禱をなし兩日共神前に於て御神酒、御供物、御守を頒布する由

## 電々業務講習會

電々新京管理管局內の電話業務講習會は七日から十二日まで六日間に亘り本社四階會議室で每日午前八時から開催される

## 藥業青年會協議

新京藥業青年會では七日午後七時から公會堂第四集會室で幹事會を開催、秋季野遊會に關する打合せを行つた

## あす(八日)

▲協和會居留民會分會結團式午後一時、總領事館構內
▲室町校收穫祭、午前十時三十分
▲長通路警察署落成式、午後三時
▲淸潔檢查、北一條通、北六條通、北十條通、東七條通東五條通各派出所管內
▲秋季第二次競馬第八日
▲特選名書大會、第一日、午後七時、公會室
▲細川虎太郎氏慰勞會、午後六時、公會堂

◇…今晚の主なる演藝放送…◇

▲六・三〇講演「我國の纖維原料に就て」(東京)厚木勝基▲七・〇〇荻江節「八島」(東京)荻江壽々外▲七・三〇ミユージカルドラマー大阪桃谷演奏所より中繼—日本俳優學校劇團▲七・五〇浪花節「巖窟王」(東京)東家樂遊

天氣と氣温

明日の天氣 北寄の風晴
日の出 前 五時 九分
日の入 後 六時 三分
月の出 後 十時一三分
月の入 後 一時 九分
けふの氣温 最高 二二度七 最低 一一度八

# 滿洲事變回顧(五)
# 殷々たる砲聲下に 一致使命を遂行

新京日本少年團 主事 竹下國雄

(下)

▲事變後に省る 鳴禽隊長△△△

前略……四時近く隣のおぢいさんが知らせて來られたので始めて目がさめてそれと知つた、ビユーツピユーツ突きぬける樣な飛彈の音、どこらあたりで交戰してゐるか見當もつかないが、小銃の音が聞きとれるのだからさして遠くはないらしい、それから家中の者が飛び起きて窓に布團を張るやら安全地帶への引揚用意に大慌てを始める、午前六時過ぎ銃聲もあまりしなくなつたので婦女子だけ市中に向け避難する、自分はお隣りの赤ちやんを抱いて一番後ろにつく途中鐵道線路の上を橫切る橋を渡るのに交戰中の寬城子兵營が一目に見へ時々響く銃聲に背中でも突きぬかれる氣がして首を縮める、やつと驛前滿鐵クラブに着くと皆ほつと胸をなでた、自分は急ぎ勤務先に行き許しを乞ふて團本部にかけつけると他の團員は夜來の銃器運搬等の業務に疲勞の色も見せず一生懸命に働いてゐる。

▽……△

自分も早速握飯を馬車に積んで警備員に屆ける、午前九時頃山下、永島兩隊長は寬城子方面に救護應援に出動する自分は本部に殘つて寬城子方面又各所に行つてゐる健兒との連絡を受持ち次々に來る傳令「擔架不足だ至急運んでくれ」「驛上に手旗の出來る健兒を上らせてくれ」「食料を運搬たのむ」等の傳令に時を移さず機敏に活動する健兒には實にうれしく又たのもしく思つた。

午前十一時砲擊も靜まり南嶺、寬城子も日本軍の機敏な働きに占據せられ日の丸の旗は兵營の屋上に高く揭げられたこの日秋晴れの空はあくまで高く太陽ははづむやうな空氣を通して碧か〳〵と鋭い光を投げてゐる。

▽……△

かくて交戰も午前中一段落を告げた、夜!萬一敗退した支那兵の夜襲に備へ我團の本部は夜が更けても緊張し切つてゐる、時刻夜中の一時!到着する兵隊さんに湯茶の接待をすべく永島隊長と團員四五名と驛に出かけた、大陸的氣候は夜が更けるにつれてぐん〳〵と氣溫が下り寒さがぞつと身にしみる寢靜まつた街は物凄いまでの靜けさだ、やがて列車も到着し靜けさの中に將校の指揮が響き驛前廣場に兵隊さんは肅々と整列する、自分達は湯茶のは入つてゐる大きなガン〳〵を持ち步くに不便なので驛から荷物運搬用の手押車を三台借り出しその上に乘せて列の中をくぐつて溫い湯茶を水筒に入れて上げる、次々に兵隊さんを乘せた列車は靜かに夜の中に着くかうして日支衝突の第一夜は白々と明ける。思ひがけない事件突發に極度の不安におびへた市民も次々に到着する兵隊さんに漸く安堵の胸を撫で下ろした。

▽……△

其の後自分は城內へ憲兵さんについて武器の押收に行つたが大勢の支那人の注目の中を自動車で悠々と引上げるときの氣持ちは實に痛快だつたがその日守備隊から火葬場に戰死者の死體を運ぶときは又言ひしれぬ感謝の念に淚ぐんだ、水を打つたやうな靜かな式場に大勢の市民が感謝の淚をうかべ尊い犧牲者の死體を迎へる、やがて神佛兩式も終りぴつしより石油をかけて焚火に點火されると焰は眞黑い煙りをもく〳〵と風のない夕べ近い空に送る尊い犧牲者の英靈はこの雲にのせられて昇天するのではなからうか、釣瓶落しの秋の日は落ちて街は靜かに暮れてゆく、かうして市中には兵隊さんが宿營され不安も薄らいだので義勇團は一と先づ解散になつたが我が團は兵隊さんが故鄕に便りする便箋封筒切手又は日用品のタオル、石鹼、歯磨、煙草などに困つてゐられるのでこれらの品を市中商店から仕入値段で買ひ入れこれを兵隊さんに原價でお分けする販賣部を本部記念館に設けた、この仕事には猛獸隊長永島君以下數名の團員の獻身的盡力によつて好成績であつた。

▽……△

各所に宿營してゐられる兵隊さんには自分が三人の健兒と出張販賣に出かける、飛ぶやうに賣れるので忽ち賣り切れ健兒は自轉車で本部に取りに行く始末で大繁昌であつた九月三十日軍隊の配給部が出來たので販賣部を中止した爾來時局安定に伴ひ軍部の內容整ひ我が團のお手傳ひすることがなくなつたので日曜に定期召集をやり鳴禽隊では猛獸隊と南嶺、寬城子の戰蹟に戰死者の墓標參拜かた〳〵見學に又飛行場の見學等に行つた自分らはその事件に遭遇し實に良い體驗を得た事を喜ぶと共に皇軍の有難さをしみ〴〵感じ大日本帝國に生れたことを深く感謝するものである、今後如何に時局が進展するか分らないが萬一の場合は充分の覺悟を有してゐる。

▽……△

以上日誌にある通り我々健兒團も活動したのであるがこのほか吉林從軍などあるがそれは省くことゝする當時の我が健兒團の微力に對し昭和七年十一月二十二日少年團日本聯盟理事長伯爵二荒芳德氏から感謝狀を授與され私が上京し頂いて歸つた、本部から感謝狀を授與されたのは全國中新京少年團を嚆矢とするのでたのである、關東五星霜茲に團員一同非常な名譽と感謝し事變記念日を迎へるにあたり轉た感慨無量なるものがある我々健兒一同は過去の輝ける歷史をきづつけないやう健兒の本分を守り益々奮鬪努力する覺悟である。

# 御下賜の繃帶
## 高津少佐捧持して着京

國防の第一線に酷暑を冒して奮鬪不幸傷病せる皇軍將士に對し畏くも皇后陛下より御下賜あらせられた繃帶を捧持して來滿した高津少佐は六日午後九時「ひかり」で關東軍幕僚その他日滿官民多數出迎裡に新京に到着した

# 記念碑除幕式に 奉納武道試合
## 本社後援で最も盛大に擧行

滿洲步四會主催寬城子戰蹟記念碑除幕式並に慰靈祭奉納武道試合は本社後援にて最も盛大に擧行すべく準備を進めてゐるが地事社會係では五日午後打合せを開き次の如く決定した、即ち試合種目は柔劍道銃劍術で各種目參加者は約四十名に制限し柔劍道は學生半數、一般半數の豫定(番外小學生若干名)參加資格は柔劍道二段以下で申込みは十二日まで地方社會係あて申込むこと當日の申込みは受理せぬ方針である、なほ慰靈祭の御供物申込は地事庶務係にて便宜取扱つてゐる締切りは八日までである希望者は至急申込まれたいと

## 公學校運動會 愈よ明後日

生徒兒童が久しく待望する運動シーズンの華、本年度秋季陸上運動會は各部、中等學校のトツプを飾つて新京公學校は九日午前八時三十分から開催、開會式は國歌合唱裡に國旗揭揚をなし次いで校長開會の辭を述べ、一同運動會歌を合唱して演技に移る、新京商業では來る十三日擧行、演技に先立つて校長の開會の辭、國旗揭揚、校歌合唱、ラヂオ體操をなして一年生の順送走球に大會の火蓋が切られることゝなつてゐる

## 飛行協會發會式 大每大朝機參加

さきに大橋外交部次長を會長に結成された滿洲飛行協會は來る二十七日寬城子飛行場にて盛大な發會式を擧行し、當日各種高等飛行、グライダー等による航空ページエンが華々しく催されるが、グライダーには特に內地に於て指導的立場にある大朝、大每機が十數台參加、國都の秋空を切つて初めて見事な空中列車の壯觀が展開される事になつてゐる、その外我が國グライダー飛行界の第一人者大每志鶴飛行士は愛機スワラ號を驅つてグライダーによる各種高等飛行を演ずる事になつてをり俄然熾烈になつた國都の航空ファンに多大の期待を持つて迎へられてゐる

# えんげい

# 特選名畫大會

## 明夜より公會堂開催

「特選名畫大會」は愈よ明八日より二日間に亙り毎夜七時より記念公會堂において開催されるが、プログラムはパラマウント「戰場よさらば」（ゲーリー・クーパー、ヘレン、ヘイズ主演、フランク・ボザーギ監督）太秦發聲「お妻やくざ」（伏見直江主演）同「理想鄕の禿頭」柳家金語樓主演の三本であるが本社並に市內著名商店發行入場券持參者に限り十五錢で開放する

りオツトー・ヴラウアー、ブリース・イースンの二人が監督に當つた作品、ジーン・オートリーを主演せしめて空想的世界と人類の鬪爭を描いた架空譚、連續映畫を改修してフイチユアに仕立てたものである、ハツタリガ利くだけがミソの寫眞である

## "秘境熱河" けふからの 帝都キネマ

帝都キネマ七日よりの番組は左の如く新興、東和商事、マスコツト三社封切品を配した三本立編成である

▽新興京都「虛無僧係圖」「夜嵐お絹」に次ぐ渡邊新太郎の督督作品で吉川英治の原作により山內英三と佐渡新三とが協力して脚色に當つたもの、大谷日出夫、高山廣子、國友和歌子、舟技邦之介、松本泰輔、松田三郎、春路謙作等の主演により名君吉宗治政の世の秘書「普化宗御掟目」一册が紛失しその謎を解くべく怪虛無僧鬪根鬼々を始め奇人弓師乾朱保、八王子同心隊等が入り亂れ興味深々の物語りを綴る、キヤメラは厨子與三の擔當である

▽マスコツト「五百年後の世界」ウオーレス・マクドナル他二人の原作によりジヨン・ラスメルが脚色に當

▽滿鐵製作「秘境熱河」滿鐵鐵路局の製作になる記錄映畫で世界の秘境熱河の實情が餘すところなく收められてある、キヤメラは早川一郎、林田重雄の二人が擔當し、音樂は紙恭輔が、解說には丸山章治が擔つた前後二篇に分れ前篇では熱河省全體が紹介され、後篇では主として承德の避暑山莊、喇嘛廟、萬里の長城等が細かく收められてある、秀れた詩情豐かな記錄映畫として充分に一見の價値ある作品である

## "名畫大會" けふからの 長春座

長春座七日よりの番組は左の如く「名畫大會」と銘打つて洋畫二番線三本立編成である

▽パラマウント「モロツコ」マーレネ・デイトリツヒとゲーリー・クーパーのコムビにアドルフ・マンヂユウが顏を並べる寫眞でジヨセフフオン・スタンバークの監督作品である世の中に望みを失つた男女か暑熱の都市モロツコで奇しくもお互に相忘れ得ぬ印象を殘すが男が女の幸福を祈りつゝ討伐に出動する時、女は素足で熱砂を踏んで男の後を追

## ◎◎本社推薦「マヅルカ」◎◎

佛ツイネ・アリアンツ映畫、「未完成交響樂」のウイリー、フオルストの監督作品で、ハンス・ラモーの脚本たよりポーラ・ネグリが復活主演する、中歐の或る都市の出來事、音樂學校の女學生であるリーザがふと見知り合つた中年の一紳士に對し强い思慕の情を寄せたが、その人はあるキヤバレエの唄ひ女ヴエラのために射殺されて了つた、裁判の日ヴエラは一切の秘密を告白したのであるがそこには母として女としての大きな悲劇が秘められてゐたのである、助演者としてインゲボルク・テークヽアルブレヒト・シエーンハルス、パウル・ハルトマン等が出演、キヤメラはコンスタンチン・チエツト長春座十一日封切、寫眞はポーラ・ネグリ

ふーといふ戀の謳歌篇、既に語り盡されてゐるだけに今更紹介の要もあるまい

▽RKO「洞窟の女王」Hライダー・ハガードの名作映畫化、ヘレン・ガーガンが初出演する映畫でルース・ローズの潤色により監督にはアービング・ピチエルとL・C・ホールデンの二人が協力して當つた、シベリアの北端人蹟未踏の境に不老不死の生命の焰を守る一團の民族が在存する、此の民族の全てを支配する女王の秘密をさぐるべく探險隊一行が組織されるが探險隊一行の前途には幾多の危險と支障とが待ち構へて

ゐる、RKO獨得のスペクタクルもの、キヤメラはJロイ・ハントがヴアーノン・ウオーカーと協力して當つた、助演者としてランドルフ・スコツト、ヘレン・マツク等が顏を並べる

▽佛ヴアンダル「にんじん」ジユウル・ルナアル原作にヴイエの監督する作品で、ロベール・リナン少年とアリイ・ボウルが主演する、家庭の愛を知らない少年のいぢらしい救ひ難い心情が父の愛によつて甦がへるまでの物語り、これも此處にくどく說明の要を認めない程有名であり過ぎる

## 待望の科學映畫で 五百年後の世界 帝都キネマ上映

米國マスコツト映畫會社の特作品で「躍る幽靈」のリーヴズ・イースレがメガフオンを執り「流線怪盗列車」のアーネスト・ミラーがクランクした一九三六年度大作である、地下二萬五千呎、數萬年前の埋沒國に今では地上の世界を凌ぐ科學の怪帝國がある、恐しい勢で進み行く人智と凄まじい科學の力ーそこには殺人光線あり空中水雷あり蘇生機あり、科學の利器を集めて地上の世界との間に大科學戰を交へんとするお伽の世界が幽靈の國か考へてもありそうもない事だ併し五百年後の人間社界は如何に變り行く事であらう實際にあり得る話であらう、怪奇と驚異の中に相當たのしめる映畫である（寫眞は其の一場面で地下人間と地上との爭鬪）



粉の香を薫つてか飛び付いたのが運の盡き頓狂な悲鳴と共にフエルトの下敷となつて了つた、お顏に似合はず殺生するんだねと言へば、だつて和ちやんの秘密な問ひに伸び切る丈け兩手を擴げて恥をかゝしたのよ▲同じ所のナ、子さん過ぎし甘い嬉しい頃を想出してかむやみにロマンチツクな歌を唄ひつゝ氣分を出してゐると、お隣のボツクスから"春雨"の男女合唱が彼女の陶醉境を搔き亂した、まあ嫌な奴！疊とボツクスを區別しない人大嫌ひと負けぬ氣で亂調子なヂヤズを唄ひ出した（サロン富士）

## 雜音

帝都キネマの横手で有田サーカスが開場したので、帝都は聊か喰はれ勝ちである、一時、時が經てば逆効果を齎すであらうが、土曜日夜の客足には、相當影響したやうである▲長春座に「名畫大會」と銘打つて「モロツコ」と「にんじん」が揭る、かう並べて集めて見ると何度でも見直せるものであるらしい寫眞にたよることのみが能ではない、番組編成には頭の要ることが判る▲滿鐵の「秘境熱河」が登場する、眞面目な記錄映畫として豐かな詩情が倫しめるであらう、一見の價値あるものである

## 仙人掌

一杯ゆこうと盃を出した途端に和子さんの鬢類にケラが脂

舊九月七日　火曜　癸巳　大安　成　猪宿　八月廿三日

●一白の人　頑固一徹にて他の反感を招き同情を失ふ日　未と申と庚が吉

●二黑の人　小利なりとも忽にせず妄りに大事を起すな　申と壬と癸が吉

●三碧の人　吉運とて油斷ならず相談威らず緣談は破る　巳と辛と寅が吉

●四綠の人　地位の安定を欠ぐ己を卑ふし衆人に交はれ　巽と庚と丑が吉

●五黃の人　衰運なれども分別深くして過ちを免るゝ日　坤と乾と癸が吉

●六白の人　從來の計畫は此日に至りて成就する勢あり　乙と申と乾が吉

●七赤の人　威勢よく努力次第にて勝利の榮冠を得る日　甲と未と乾が吉

●八白の人　萬事煮えきらぬ運勢を廻る一家の和合事一　巽と坤と乾が吉

●九紫の人　物事の手應へ少なく行惱みを生じ損害あり　巳と艮と寅が吉

# 新京協定は不充分 消組法制定要望
## 實業團体より實協總會に附議

全滿實業聯合會では滿洲國官吏消費組合の誕生に際し新京協定なるものを結び得て强敵官消の出現にも漸く安堵したが最近滿鐵消費組合の全滿的强化擴充と滿洲國官消の全滿的躍進に不安を抱き官消との新京協定なるものは單に紳士協定に過ぎずこの上官消の攻勢的進出に遭つては一大危機を招來するも保し難しとなし民間商業團體では新京協定なるものにあき足らず消費組合法を制定して官消の限界をはつきりきめてほしいとの要望を抱き來る日滿實業協會の總會に附議しその促進方を中央要路に慫慂すべく圖る事となつた

# 壺蘆島の築港 滿鐵で擴築
## 滿洲國では開港場に指定

熱河省の東南海岸線上に於ける壺蘆島は南滿始め熱河興安兩省一帶の物資集散港として大いに將來性を有し同島築港擴充工事は既に完成し現在二千屯級船の出入を見羅津より繋留用小汽艇の廻航配備の運に在るが更に第二の撫順たる阜新炭礦の石炭輸出港として擴築計畫が立案されつゝあり目下滿鐵本社内に壺蘆島築港委員會が設置され諸般の準備中にて明年解氷期より工事に着手五ケ年計畫を以て一ケ年三四百萬屯の物資呑吐が期待されてゐる、然し同港に就いては滿鐵々路總局並に滿洲國政府間の協議に依つて明年二月より之を滿洲國開港場に指定方正式決定を見るに到つた

滿洲事情の吸收に熱心であるかを物語つてゐる

# 新京取引所 前週取引週報

鈔票建混保大豆　先物　三十一日盂蘭會、一日關東局始政記念日と二日續きの休會ありて明けの二日は九月限六圓九十九錢、十一月限五圓五十二錢と大差なく立會ひしが、埠頭在荷極度に減少の折柄、積取船の入港と共に大連市場現物にはまばら及思惑筋の煎れ殺到し、俄然爆發的相場を演じ現物大豆十圓台乘せの新高値に狂騰を演ぜしかば、當市も伴れて思惑筋の買進み猛烈にして九月限は七圓五十錢と一氣に五十錢方の大暴騰を演ずるに至れり。後場に至りては煎れ一巡と共に氣配は幾分落付模樣を呈し、九月限は七圓卅五錢と小弛ゆ、遠期十一月限は保合に終り比較的平靜を維持したり。然るに現物拂底により不安人氣は依然濃厚にして、三日九月限七圓五十錢、十一月限は五圓七十三錢と續騰を辿り、四日九月限は仕手薄乍ら七圓八十五錢と又復新高値に吹上げ、十一月限は五圓七十六錢と堅調を呈したり。跡週末は大手の新規買物旺盛に軌調を辿り九月限は四日七圓七十一錢、十一月限は五日五圓六十八錢と越週せり

本週總出來高　三百四十三車、一日平均　八十六車

鈔票建普通大豆　出來不申
國幣建混保大豆　出來不申
國幣建普通大豆　出來不申
鈔票建高粱　先物　三日九月限三圓十六錢と立會ひあと極めて氣乘薄く閑散に推移せしが、週末五日九月限三圓十二錢と軟調裡に越週せり。

本週總出來高　十三車、一日平均　三車
國幣建高粱　先物　出來不申
現物　出來高十三車、高値十一圓二十錢、安値十圓八十錢
鈔票對金票　出來不申

# 最初の林業移民 十五日に入滿
## 青森、秋田から百三十四名

拓務省では從來農業移民を滿洲國に入植させてゐたが今回新に同國實業部の依頼に依り林業移民百三十四名を入植させることになつた同移民は青森秋田兩縣下から募集したもので來る十五日入港の嘉義丸で清津に上陸し同日午後六時十五分發の列車で事業地たる間島省古洞河草皮溝濱江省二道河子三江省大靑山に向ふ豫定である

# 康德會館 增築工事完成

昨秋より增築工事中であつた康德會館は此程舊館の一倍半に近い增築を完了愈よ十月頃竣工式を擧行することゝなつた、同館の總建坪は六千坪、室數三百五十室となるわけである

る棉花栽培、紡績、毛織、絹業、人絹各纖維に亘る大工業の展開を目標として今や非常な意氣込みで進められてゐる而して同社がいち早く北支に於ける借地權獲得に成功した事實に關しては同方面への進出を企圖しつゝある各資本系統乃至纖維工業會社の最も注目するところだが、その計畫内容に於いて特殊な方面との密接な關係あることが注意される

# ハイラル 電々廳舍新築

ハイラル電々會社では最近著しき增加により業務次第に繁忙を極め電話加入數も六百餘に增加したので電報電話局舍を合併中央大街目貫きの場所に約二十萬圓の豫算で自動電話の設備を計畫してゐる本年中に大體準備を完了明年度實現の豫定であると

# 滿洲國の電力國營 具體案を檢討中
## ―發電のみの國營案が有力―

滿洲國の水力電氣開發は國營とし明年度より三ケ年繼續事業として着手することに決定したが更に次の如き具體的諸問題が研究されてゐる

一、發電は國營とするも送電配電を如何にするか
一、總工費を概算三千五百萬圓とし之を如何に調達するか
一、第一第二松花江に構築するとしても國道局案とするか產調案の小峰門とするか

而して第一の點については英國の例の如く發電のみ國營とする案が有力であり第二については大體公債による事になつてゐるが未だ細目的決定には至つてゐない、第三については小峰門が地勢水利上有力であり且つ吉林に近い關係から土木工事を起すに有利とみられるが之が最後の決定の爲近く地質調査隊が派遣される筈である

# 大阪鐵工業者 視察に來滿

滿洲北支よりの鐵工品需要も漸く永久性を帶びんとして居り關係業者の現地に對する認識は愈々必要とされる爲大阪鐵工業同業組合では豫てより滿洲視察旅行の實施計畫中であつたが、今回九月六日より二十一日に亘つて擧行される大阪實聯滿支產業視察團に參加新京、奉天、鞍山、撫順等の重工業地を巡り更に北平天津の北支工業地帶に足を延して完全な知識の吸收につとめることになつた、參加人員は總計十九名に内藤主事を加へて二十名視察團各組合中最大メンバーを擁し如何に業者が

# 正金人事異動 廣範圍に亘る?

【東京國通】正金銀行兒玉頭取の辭任に伴ひ取締役兼東京支店支配人渡邊禮、取締役兼大阪支店支配人矢野勘治の兩氏は夫々支店支配人の囑託を解かれて本店常勤務取締役と決定したので之に伴ひ支店支配人同課長級の異動が相當廣範圍に亘つて行はれる豫定である

# 鐘紡、北支進出に 七十萬步獲得
## 各種工業の展開を目標とす

鐘紡の北支に於ける工場敷地の權利獲得は既に七十萬步の擴大なる地域を占め軍部と密接な關係下に國家的進出の實行に移つてゐるが、同社の遠大なる計畫は北支を中心とす

# 康德三年度新設の 金融合作社設立許可
## 同時に新理事も任命

康德三年度金融合作社設立數は曩に財政部に於て廿社と内定し同部より豫定地方に夫々準備委員を派遣して設立準備に努めつゝあつたが同部に於ては此程右廿社に對する手續上の審査を了し其の全部の設立を許可した

因に全滿金融合作社は昨年度迄に許可せられたる八十二社と併せ合計一〇二社となつた譯であるが金融的側面より農民經濟の發達を圖らうとする滿洲國の金融合作社運動の施設も着々完成に近付きつゝあり又財政部指導の下に猛訓練を受け直接同部より任命せられたる理事の活動に對しては關係各方面で期待して居り滿洲國金融合作社の健實なる發達により農民經濟は益々向上するものと注目されてゐる

康德三年度新設金融合作社及同理事氏名左の如し

| 省　縣 | 金融合作社 | 理事氏名 |
|---|---|---|
| 吉林省樺甸縣 | 樺甸金融合作社 | 伊藤　信義 |
| 同　舒蘭縣 | 舒蘭金融合作社 | 米滿　穎喜 |
| 同　敦化縣 | 敦化金融合作社 | 伊藤　戰勝 |
| 龍江省林甸縣 | 林甸金融合作社 | 栗本滿佐夫 |
| 同　鎭東縣 | 鎭東金融合作社 | 山村　誠 |
| 同　安廣縣 | 安廣金融合作社 | 柴谷　保隆 |
| 三江省寶淸縣 | 寶淸金融合作社 | 前田　文雄 |
| 同　勃利縣 | 勃利金融合作社 | 大塚　忠 |
| 濱江省肇州縣 | 肇州金融合作社 | 今村喜久司 |
| 同　慶城縣 | 慶城金融合作社 | 池田　誠助 |
| 同　延壽縣 | 延壽金融合作社 | 渡瀨　政雄 |
| 同　木蘭縣 | 木蘭金融合作社 | 靑野　廉治 |
| 同　五常縣 | 五常金融合作社 | 松田　幸二 |
| 同　密山縣 | 密山金融合作社 | 田中　稔 |
| 安東省臨江縣 | 臨江金融合作社 | 松本　英正 |
| 同　通化縣 | 通化金融合作社 | 財前　則二 |
| 奉天省雙山縣 | 雙山金融合作社 | 松本　武雄 |
| 錦州省阜新縣 | 阜新金融合作社 | 岡村　春人 |
| 同　彰武縣 | 彰武金融合作社 | 三井　勝義 |
| 熱河省圍場縣 | 圍場金融合作社 | 川内　四郎 |

尙ほ金融合作社康德二年及三年度設立數並に康德三年七月末現在の貸出金、預金額は左の如し(金額は單位千圓)

| | 二年度迄に設立された合作社數 | 三年度 | 計 | 貸出金 | 預金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 吉林省 | 一二 | 三 | 一五 | 一、四八五 | 一、二四三 |
| 龍江省 | 一三 | 三 | 一六 | 一、一七一 | 三六八 |
| 三江省 | 一三 | 二 | 一五 | 三五六 | 二六〇 |
| 濱江省 | 一二 | 六 | 一八 | 一、二九九 | 六六一 |
| 安東省 | 五 | 二 | 七 | 二八〇 | 一五五 |
| 奉天省 | 一三 | 一 | 一四 | 五、八五三 | 二、三八七 |
| 錦州省 | 九 | 二 | 一一 | 一、三三六 | 三四〇 |
| 熱河省 | 四 | 一 | 五 | 二六八 | 三七 |
| 興安南省 | 一 | — | 一 | 六八 | 一 |
| 合計 | 八二 | 二〇 | 一〇二 | 一三、〇一八 | 五、四五五 |

# 土建ニュース

▲決定工事　●新京地方事務所
▲新京蓬萊町大弓場修繕工事　豫特　四十六圓　千々岩工務所
▲新京傳染病棟煉瓦塀一部修繕工事　豫特　四百四十三圓四十五錢　近藤嘉壽直
▲用度事務所新京支所煖房給排水裝置工事　落札　四千九百圓　松澤萬三人

| | |
|---|---|
| 四、九八〇、〇〇 | 竹山　吉次 |
| 五、四五〇、〇〇 | 中島　平治 |
| 五、五五五、〇〇 | 田中　勝藏 |

▲新京驛本家屋根修繕工事　●新京保線區
單獨　二千五百八十圓六十錢　秋山商會

▲建國廟第一期造營工事　●營繕需品局
示談　十一萬二千圓　三田組

第二回

| | |
|---|---|
| 一三二、六〇〇、〇〇 | 三田組 |
| 一三三、〇〇〇、〇〇 | 大林組 |
| 一三四、〇〇〇、〇〇 | 淸水組 |
| 一三五、三〇〇、〇〇 | 福昌公司 |
| 一三六、〇〇〇、〇〇 | 高岡組 |
| 一三六、八〇〇、〇〇 | 大倉土木 |

▲豫告工事
▲龍江省公署廳舍新設電氣工事　●營繕需品局
開札　九月十一日　午前十一時

第一回

| | |
|---|---|
| 一二七、〇〇〇、〇〇 | 福高組 |
| 一二八、〇〇〇、〇〇 | 三田組 |
| 一三一、〇〇〇、〇〇 | 大林組 |
| 一三一、五〇〇、〇〇 | 淸水組 |
| 一三四、〇〇〇、〇〇 | 福昌公司 |
| 一三四、七〇〇、〇〇 | 大倉土木 |
| 一三八、五〇〇、〇〇 | 高岡組 |
| 一三九、七〇〇、〇〇 | 福高組 |

▲吉林市立屠宰場煖房並給水裝置工事　開札　九月十日　午前十時
▲奉天高等農林學校寄宿舍其他增設改修電氣工事　開札　九月十日午前十時
▲承德師範學校舍其他增築改造工事　開札　九月十一日午前十時　●專賣總署
▲濱江專賣所雜品倉庫新築工事　開札　九月八日後三時　●建設局
國都建設局の水源地竣工式は快晴の今日淨月潭にて盛大に興行された
▲吉林大路小舖石舖裝工事　開札　九月七日午前十時　●宮內府
▲決定工事
▲皇宮近衛兵舍及病房新築工事　落札　一萬七千圓　春發公司

| | |
|---|---|
| 一七、三五〇、〇〇 | 慶達公司 |
| 一七、五五〇、〇〇 | 東新公司 |
| 三三、〇〇〇、〇〇 | 淸水組 |
| 三三、五八〇、〇〇 | 鐵嶺田中組 |
| 二四、七〇〇、〇〇 | 吉長興公司 |

▲九月二日發表中央銀行紙幣消却爐築造工事は今井組と示談交涉中でありたが結局三千三百圓にて今井組と交涉成立した

▲山海關局宅追加電氣工事　●鐵路局
示談　一千六百十三圓七十錢　信安組
▲溝幇子給水所機器新設工事　落札　二千百八十五圓五十錢　川住鐵工所

| | |
|---|---|
| 二、一九五、〇〇 | 右同 |
| 二、二三五、〇〇 | 右同 |

▲右同局宅追加電氣工事　示談　四百七圓八十錢　信安組

| | |
|---|---|
| 二、八〇〇、〇〇 | 右同 |
| 四三二、〇〇 | 右同 |

▲赤峰局宅追加電氣工事　示談　三百八十八圓四十錢　信安組

| | |
|---|---|
| 四五八、〇〇 | 右同 |
| 四六九、〇〇 | 右同 |

▲奉天造兵所守衞室補修工事　●奉天造兵所
落札　六千四百五十圓　福井組
▲新安埠頭區各一部排水鐵管敷設工事　●市公署
落札　一萬三千五百圓　蔦井組

| | |
|---|---|
| 一三、八〇〇、〇〇 | 福井組 |
| 一五、三五〇、〇〇 | 田中組 |
| 一六、八二〇、〇〇 | 鹿島組 |
| 一七、六〇〇、〇〇 | 吉川組 |
| 一七、八〇〇、〇〇 | 眞田工務所 |

▲牡丹江機務段汽罐新築工事　●吉林鐵路局
特命　一萬五千六百十七圓七十錢　大林組
▲北三道街附近鐵管布設工事
落札　四千七百八十圓　撫順田中組

| | |
|---|---|
| 四、九〇〇、〇〇 | 鈴木組 |
| 四、九二四、〇〇 | 長谷川工務所 |
| 五、〇四〇、〇〇 | 神谷工務所 |
| 五、〇九〇、〇〇 | 眞田水道 |



滿洲國の全鐵道を統一して健全な滿洲經濟の大動脈をつくりあげる、國線、滿鐵線の過渡的併立の摩擦を除く、そして滿鐵を通じて投下された資本に對する擔保力を堅固にし、沿線開發による收益性の增大に努める▲製鐵、採炭、製油の諸機構を確立擴充する、滿洲の全產業問題に巨大な調査機關によつての發言、指導の任務を强化する▲これらの企圖のための滿鐵職制改革は近づいたそれにしても由來人事に規制されて妥協的結論に落ちつくといはれたそのやうな弊はどれだけ排除されるか、それが現下の關心の中心である

# 商況欄
## 海外經濟電報(九月七日前場)

倫敦銀塊　一九片一六分九
同　先限　一九片一六分九
紐育銀塊　四四仙四分三
孟買銀塊　四八留比四分三
米英爲替　四弗九三仙八分五
米日爲替　二九弗四九仙
米支爲替　三〇弗二五仙
スチール株　七一弗八分三
アナコンダ　三九弗四分一
英日爲替　一志二片一六分一
英支爲替　一志二片三分一五
印日爲替　七七留比二分一

▲米棉
現物　一一仙九一
十月限　一一仙五一
十二月限　一一仙五三
一月限　一一仙五七
三月限　一一仙五八
五月限　一一仙六三
七月限　一一仙六四

▲印棉
ブローチ　二一六留比
オームラ　一九三留比
ペンゴール　一五七留比

▲市俄古小麥
九月限　一弗一一仙八分三
十二月限　一弗一〇仙八分三
五月限　一弗〇九仙八分一

▲カルカッタ麻袋
靑筋　二一留比六分三
鐵筋　一九留比八分五

# 金銀市況
●上海標金　本寄　一二三、七
●大連金鈔票　現物　寄付　九九、九五〇　引　九九、九七五
出來高　七萬

# 爲替相場
●大連金鈔票　現物　寄付　九九、九二〇　引　九九、九五〇
出來高　七萬
九月十三日限　九月廿八日限
寄付　―　―
步　出來不申
引　不來申
高　―
安　―
●大連鈔票銀大洋　現物　不申

▲上海爲替
▲日本向
第一回　買賣　一〇二、三七五
第二回　買賣　一〇二、六二五
▲倫敦向
第一回　買賣　一志三片三分八分三
▲紐育向
第一回　買賣　三〇弗一六分四分三
▲大連爲替
▲上海向　一〇二、六五〇　二、六七五
▲煙台向　二、六五〇　二、七〇〇　一〇二、六五〇　三萬
▲阪神日米爲替
第一回　賣買　二九弗二六分一七
▲阪神日英爲替
第一回　賣買　三〇弗三分六分一

# 各地株式市況
▲東京株式(短期)
| | 寄付 | 高値 |
|---|---|---|
| 東新 | 一三六、六〇 | 一三六、四〇 |
| 鐘新 | 一五五、八〇 | ― |
| 滿鐵 | 六三、五〇 | ― |
| 日産 | 八二、四〇 | 八二、〇〇 |
| 大新 | 六八、八〇 | ― |

▲大阪株式(短期)
| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 大新 | 六八、九〇 | 六八、九〇 |

▲大連株式(短期)
| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 鐘新 | 一六六、八〇 | 一六六、五〇 |
| 東新 | 一三六、五〇 | 一三六、五〇 |
| 日産 | 八二、八〇 | 八二、八〇 |
| 日魯 | 六八、六〇 | 六九、一〇 |
| 五品 | 一六、〇〇 | 一六、〇〇 |
| 豆新 | 三一、〇〇 | 三一、〇〇 |
| 錢鈔 | 一五、三〇 | 一五、三〇 |
| 東新 | 一三六、三〇 | 一三六、五〇 |
| 滿鐵 | 六三、七〇 | 六三、七〇 |
| 二新 | 三九、八〇 | 三九、五〇 |
| 日產 | 八二、五〇 | 八二、七〇 |
| 鐘新 | 一六六、一〇 | 一六六、五〇 |

▲奉天株式(短期)
| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 滿取 | ― | ― |
| 東新 | 一三六、〇〇 | 一三六、五〇 |
| 大新 | 六八、八〇 | ― |
| 日產 | 八二、三〇 | 八二、六〇 |
| 五品 | 一六、一〇 | ― |
| 豆新 | 三一、四〇 | ― |
| 鐘新 | 一六六、〇〇 | ― |
| 滿毛 | 一九、六〇 | ― |
| 優先 | 二〇、五〇 | ― |
| 滿鐵 | 六三、七〇 | ― |
| 二新 | 三九、六〇 | ― |
| 電甲 | 三七、六〇 | ― |
| 同乙 | ― | ― |
| 東拓 | 一五、五〇 | ― |
| 滿興 | 二六、六〇 | ― |
| 日魯 | 六九、五〇 | 六九、〇〇 |
| 東亞 | ― | ― |

# 各地商品市況
▲大阪棉糸
| | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 九月限 | 二二四、五〇 | 二二四、四〇 |
| 十月限 | 二二九、三〇 | 二二九、二〇 |
| 十一月限 | 二二六、三〇 | 二二六、四〇 |
| 十二月限 | 二二四、一〇 | 二二五、四〇 |
| 一月限 | 二二四、三〇 | 二二四、四〇 |
| 二月限 | 二二三、七〇 | 二二三、九〇 |
| 三月限 | 二二一、六〇 | 二二二、〇〇 |

▲大阪棉花
當限　六二、六〇　六二、四五
先限　六二、五〇　六二、五五

▲大阪人絹
當限　六三、五〇
先限　六〇、六〇　六〇、六〇

# 各地特產市況
●大連大豆
| | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 袋入 | ― | ― |
| 九月限 | 七、七二 | 九、二五 |
| 十月限 | 七、一五 | 七、二七 |
| 十一月限 | 六、九三 | 六、九九 |
| 十二月限 | 六、九九 | 六、九三 |
| 一月限 | 六、四四 | 六、四八 |
| 三等現物 | ― | ― |

●同　豆粕
現物　九月限　十月限　十一月限　十二月限　一月限　―

●同　豆油
現物　八月限　九月限　十月限　十一月限　十二月限　―

●同　高粱
| | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 現物 | 四、八六 | 四、八六 |
| 九月限 | 三、九九 | 三、九八 |
| 十月限 | 三、八〇 | 三、七八 |
| 十一月限 | 三、六九 | 三、七一 |
| 十二月限 | 三、六九 | 三、六九 |
| 一月限 | ― | ― |

●哈爾濱大豆
| | | |
|---|---|---|
| 九月限 | 七、〇〇 | 七、〇〇〇 |
| 十月限 | 五、六六 | 五、八五〇 |
| 十一月限 | 四、九一 | 四、八三〇 |
| 出來高 | 二四九車 | |

●同　小麥
| | | |
|---|---|---|
| 九月限 | 五、三二七 | 五、三三〇 |
| 十月限 | 五、四〇 | 五、四〇 |
| 十一月限 | 五、四〇 | 五、四一〇 |
| 出來高 | 八一車 | |

# 新京取引所市況
(九月七日前場)(一石値段)

| | 寄引 | 出來高 |
|---|---|---|
| 現物 | | |
| 大豆 | ― | ― |
| 高粱 | ― | ― |
| 小豆 | ― | ― |
| 玉蜀黍 | 二、八〇 | 一車 |
| 大豆 九月限 | 七、九〇 | 七、三五　一三車 |
| 十月限 | ― | ― |
| 十一月限 | 五、七二 | 五、七四　四車 |
| 十二月限 | ― | ― |
| 高粱 九月限 | 三、〇〇 | 三、〇〇　一〇車 |
| 十月限 | ― | ― |

# 豐樂劇場

| 上映時間 | 一回 | 二回 | 三回 |
|---|---|---|---|
| ニュース | 12.00 | 3.31 | 7.08 |
| 日蝕は血に染む | 12.20 | 3.51 | 7.28 |
| 銀之亟異變 完結 | 1.11 | 4.42 | 8.19 |
| 名馬物語 | 2.23 | 6.00 | 9.37 10.41終 |

階下八十錢　日曜午前十一時上映　五日より八日まで
電話 2-1445・2-1585

# 帝都キネマ

| 上映時間 | 一回 | 二回 | 三回 |
|---|---|---|---|
| ニュース | 12.10 | 4.02 | 7.54 |
| 虚無僧系圖 前篇 | 12.23 | 4.12 | 8.04 |
| 五百年後の世界 | 1.40 | 5.32 | 9.24 終10.47 |
| 秘境熱河 | 3.03 | 6.55 | |

料金七十錢　七日より九日まで
電話 2-1236・2-1405

# 新京キネマ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 名馬物語 | 12.00 | 3.?1 | 7.02 |
| ニュース | 1.08 | 4.39 | 8.10 |
| 日蝕は血に染む | 1.28 | 4.59 | 8.30 |
| 銀之亟異變 完結 | 2.19 | 5.50 | 9.21 10.29終 |

料金八十錢　五日より八日まで　日曜・祭日午前十一時より
電話 3-2068

# 長春座

| | | | |
|---|---|---|---|
| にんじん | | 1.36 | 6.22 |
| 洞窟の女王 | | 3.10 | 7.56 |
| モロッコ | 12.00 | 4.45 | 9.31 |

階下五十錢　七日より四日間
電話 3-3134・3-5766

新京日日新聞
朝刊
本紙朝夕刊十二頁
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五拾錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三一二五 營業局專用(3)三一〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介



# 成都事件・俄然上海に波及

# 抗日態度の是正期し徹底的に責任を追及

## 現地自由裁量による原則方針提示

## 川越大使の交渉期待さる

【上海七日發國通】成都事件に關する中央よりの訓令內容は確聞するに從來と異つた強硬な意思表示を以て國民政府の決意を迫ると共に國民政府の抗日態度是正を眼目として新生事件の際國民政府の確約した國民政府及び黨部の抗日是正が毫も實行されてゐない點に就き徹底的にその責任を追及、大局的見地から國民政府の徹底的實行を實現すべき確固たる要求を爲す一方、慣例的外交措置の外特に將來の保障に就ても明確な國民政府の言質をとる筈で、訓令は政府の原則的態度を提示して相當廣汎なる現地自由裁量の餘地を殘してゐるので交涉に於る川越大使の手腕には多大の期待がかけられて居る(寫眞は川越大使)

# 打倒日本を怒號 數百枚の傳單撒布

## 上海學生團の反日デモ行はる

【上海七日發國通】成都事件の波紋を受け上海に於る排日運動は更に拍車をかけられ、加ふるに各學校の授業開始に依る學生の歸校及び九・一八事件記念日を控へ執拗なる然も根强い抗日運動が計畫的に行はれるとの情報が工部局並に公安局に入り當局では七日の辛丑條約締結の國恥記念日、十八日の滿洲事變勃發記念日等の連續的記念日を迎へ九月に入つて以來嚴重なる警戒網を張つて居るが、六日午後二時南京より二十數名の抗日學生が北站に下車、當局の警戒網を巧みに潜り南市閘北等で傳單を撒き、中には過激極まる街頭演說をなしたので公安局は全市に亘り銃劍拔身の拳銃で警戒したが 群衆は益々增加し二百數十名に上りこの一隊は抗日學生團を中心に打倒日本を怒號しつゝデモに移り午後三時頃閘北寶山路を行進中漸く武裝警官隊のため解散させられたが、その間十數回の街頭演說が行はれ數百枚の抗日傳單が撒き散らされた、尙ほ北站分局では時節柄非常に重大視し徹宵警戒に當つたが、七日は所謂辛丑條約締結の國恥記念日に當るので國民黨も記念集會デモを行ふのを例としてゐるため嚴重なる警戒が行はれてゐる

# 現地首腦者會議終へ

## 川越大使 愈よ南京乘込み

【上海七日發國通】現地首腦者會議は七日午前十一時から大使官邸で川越大使、若杉參事官、須磨南京總領事、喜多陸軍武官、佐藤海軍武官出席五日の下打合せを基礎に更に對國民政府交涉の具體的段取りにつき愼重協議した結果、川越大使は陸海軍武官の積極的支援の下に愈よ南京に乘込む事になつた

### 渡邊氏遺骨歸る

【神戶國通】支那四川省成都で尊き殉職を遂げた大阪每日新聞社々員渡邊洸三郎氏の遺骨は恒子未亡人、遺兒肇君、末利子さん其他近親、大每社員等に護られ七日午前九時半神戶港入港の郵船淺間丸で悲しき歸國をしたが官民多數哀悼裡に上陸直に自動車で兵庫縣西ノ宮市の自邸に引取つた

### 英國皇帝イースタンブール御着

【イースタンブール六日發國通】イギリス皇帝エドワード八世は四日正午イースタンブール市御到着、トルコ大統領ケマルアタトルク氏の歡待を受けマルモラ海上に於るヨツトレース、大統領主催の午餐會等に臨まれた、英帝は滯在三日の後六日夜特別列車で同市出發ブルガリア國の首都ソフイア市に於てブルガリア國シボリス三世と御會見の筈である

# ソ聯赤手、頻りに支那側に働きかく!

豫て計畫中の支ソ共產黨學生聯合會は九月一日その大會を北京大學にて擧行の筈の所市社會當局の取締りのため事前に暴露し其の後三々五々市中で秘密會合中なるを以つて目下極力調査中である
▼ソ聯大使館情報主任ソゴーホは近來支那側の共產黨取締が緩和になつたのに乘じ上海に於て共產黨工作員三十數名を利用し工會、學生聯合會に潜入せしめ日本擊退の工作を始めたる模樣である
▼ソ聯の國營機關である佛ソ合作食料品輸出會社上海支店では近來ソ聯製のモーター、自動車、ミシン、機械、貴金屬を多量に浦鹽から受領し支那市場にダンピングを行ひその所得を赤化宣傳費に充當しつゝある
▼張家口のソ聯極東代表アロンシンタイムは近來上海に到り支那側要人と盛んに往復何事か畫策中の模樣である
▼ソ聯代表レービンは八月中北平にてフランス大使及平漢鐵路當局者と會見し、平漢線の主要驛に對支貿易局を設立するに決定の模樣であるが、ソ聯はその代價として外蒙方面に於けるフランスの貿易を承認する事となつた

# 波、佛兩國間に軍事借欵成る

## 波蘭土、軍備の近代化を斷行

【パリ六日發國通】ポーランド獨裁官、教育總監リズスミグリ將軍は過般來パリに乘込みフランス國軍の現狀視察旁々參謀總長、ガムラン將軍、ダラヂエ國防相等と數次に亘り協議を遂げ、更に六日午後ホテルランブーエに於てブルム首相と會見した結果、フランス、ポーランド兩國政府間に現存する同盟條約條項に基き借款協定を締結し即時調印を了した、協定要旨左の如し
一、フランス政府はポーランド政府に對し今後五ケ年間に亘り總額廿二億五千萬フランの借款を附與す
一、ポーランド政府は右借款によりポーランド國軍の近代化を斷行して裝備の改善を圖る

### 外交團の首都殘留をス外相要望

【マドリッド六日發國通】スペイン新外相ユリオ・アルバレス・デルバヨ氏は六日午後外交團主席チリー大使オーレリオ・モルガード氏に對してスペイン政府は居留外人の保護に萬全を期する方針だから外交團が引續きマドリッドに殘留するやう要望した

### 米國駐在ス大使辭職を通告

【ワシントン六日發國通】ワシントン駐劄スペイン大使ドン・ルイス・カルデロン氏並に陸軍武官輔佐官ホセ・ビダール少佐はスペイン新內閣と協力する事を希望せず六日辭職する旨アメリカ政府に通告した

# 歳出の見透しつかず國策豫算行腦む

## 一先づ歳入計畫の決定を急ぐ

【東京國通】大藏省主計局では目下明年度各省豫算概算要求書に基き查定を急いで居るが各省要求額は合計卅二億圓を突破する巨額に達するのみならず、陸軍省の如く未だに要求概算書の提出なきため歳出豫算中最も重要なる國防豫算に對する見透しがつかず、之に加へて所謂國策豫算の政治的振合ひも考慮せねばならない事になつて居る爲豫算の查定を一順して明年度に於る歳出の限度を決定するまでには尚ほ相當の日數を要する見込みである、よつて大藏省では歳出豫算の查定と並行し歳入計畫の決定を急ぎ、稅制整理案、特別會計繰入、自然增收の見積り等歳入全般に亘る見透しを速かに確立し歳入との睨合ひに於て豫算編成の最後的解決點を見出さんと苦慮して居るが、この中特に稅制整理案に就ては既に現內閣の重大國策として屢々言明して居るところなので藏相としても速かにこれが輪廓を閣議に諮りたい意向であり近く省議を開いて稅制整理に關する未決定の懸案を一擧政治的裁斷によつて解決すべく意氣込んで居る、尙ほ稅制整理案に就て目下未決定の懸案となつてゐる主なる點は略々次の如きものと見られる
一、國債利子に對して課稅するの可否
一、第二種所得を第三種所得に綜合課稅するの可否及び有價證券移轉稅新設の可否
一、第三種所得稅の免稅點引下げの程度
一、賣上稅新設に關する方法及び範圍
一、財產稅新設に關する方法及び程度
一、ガソリン稅新設に關する方法
一、家屋稅の國稅移管、戶數割の全廢に關する可否

### 愛國團体代表等首相訪問

【東京國通】勤王聯盟以下十八團體の全國愛國團體代表者約二十名は七日午前十時永田町の首相官邸を訪問、廣田首相の代理石田秘書官と會見し成都事件に關する左の如き政府の對支強硬態度を要望する旨の決議文を手交した
多年支那に於る排日、抗日の暴狀は實に言語に絶し、特に今回成都に於る邦人虐殺事件に對してはその甚しきを見る、畢竟これ支那が我が當局の寛容に馴れ多年排日、抗日を國民の間に敎育培養したるの結果に外ならず、斯くの如くにして已まずんば我國の權威は蹂躪せられ東洋の平和は遂に救ふべからざるに至らんとす
惟ふに今日の急務は拔本塞源の方法により抗日、排日の精神、行動を根底より一掃し支那をして誠心誠意國交敦睦の本然に歸らしむるにあり吾人は現支那の暴狀を糺し並に東洋平和の基礎を確保するためあくまで強硬の態度を以て之に臨み彼をして反省實行せしむべし

# 第十三驅逐隊の三艦 六日上海入港

【上海七日發國通】成都事件の重大性に鑑み我第三艦隊は長江流域を中心とする帝國の權益保全の爲、警備の態勢を取つて居るが主として河北方面警備に當つて居た西岡中佐の率ゐる第十三驅逐隊若竹、(艦長濱口中佐)早苗(艦長矢野少佐)吳竹(艦長勝見少佐)の三艦は六日午後四時折柄の滿潮に乘り勇ましく濁流を蹴つて當地に入港商船碼頭に船首を並べて繋留された、尚第十三驅逐隊は十日頃出港する豫定である



### 國務院會議決定事項

七日國務院會議に於ける決定事項は左の如くであつた
一、商租權整理法施行令
　商租權整理委員會官制
二、留學生に關する件
三、人事
哈爾濱特別市公署工務處長　佐藤俊久
兼任哈爾濱特別市公署總務處長　敍簡任一等
安東航政局長　張景弼
任航政局長敍簡任二等(補哈爾濱航政局長)
右のうち留學生に關する件は從來日本への滿人留學生が頗る多數に上つてゐるにも拘らずこれに對し適切な指導を缺いでゐたのに鑑み今後適當なる統制を與へることを期したものである

# 冀察稽查處

## 八日より事務開始

【天津七日發國通】冀東貿易品の流通促進による冀察財政の窮狀を救ふべく宋哲元氏の命令により設置された冀察稽查處はその後南京政府の依然なる反對により行惱みの狀態にあつたが、宋哲元氏は良貨廉價の日本品を流入する事により北支民衆の經濟生活を安易ならしむべく冀東貿易品に八分の一稅率賦課を決定愈よ八日より正式に事務を開始する事となつた、尚ほ岐口に於る稽查處も設置に決した

### 松岡總裁北滿視察出發

【大連國通】松岡總裁は七日午後八時大連驛發北滿視察に赴くが白城子よりハロンアルシヤンを經てハイラル方面に赴き來る廿一日歸連の豫定である

### 武部部長東上

【大連國通】滿鐵武部商事部長は滿洲商事會社設立の具體案を携へて七日出帆のうすりい丸で東上したが對滿事務局其他關係方面に說明の上認可申請の手續きをとり廿日過ぎ歸連の豫定である、同氏は出帆前に語る
十五日迄に認可を取る事は困難かも知れないが商事部の商事會社となつて獨立する事は他の職制改正と同時に斷行の方針だから十月一日迄には創立總會が開かれるであらうと思ふ

### 人事往來

▲佐藤ハルビン總領事　七日午後ハルビンより
▲板垣參謀長　同歸京奉天より
▲鈴木關東軍經理部長　同公主嶺より
▲齋藤大佐(海拉爾特務機關長)同ハルビンより
▲羽根田久一氏(滿洲國官吏)同來京國都ホテル
▲鶴見次𠮷氏(貿易商)同
▲宗像金吾氏(特產商)同
▲工藤武夫氏　同
▲貝瀨金吾氏(滿洲技術協會理事)同ヤマトホテル

### 航空往來

▲奧良一氏(會社員)七日午後ハルビンへ
▲岡本茂氏(官吏)同
▲森野豐氏(同)同
▲篠原氏(會社員)同
▲藏宮辰夫氏(軍屬)ハイラルへ
▲野島兼義氏(會社員)大連へ
▲大久保總氏(同)同
▲下澤好雄氏(同)午後奉天より
▲原田耕作氏(同)同
▲市川正章氏(會社員)ハルピンより
▲福原正作氏(同)同
▲長井四郎氏(軍人)同

訂正　昨夕刊八日附第一面に掲載の「第三次滿蒙會議の出席者十五日出發」の見出並本文中第三次とあるは第二次の誤りにつき訂正す

### 偲語

成都事件の新事實が日本側の調査したあとから外人側の調査により發見された▲日本人虐殺暴徒のリーダーは成都にある米國系ウエスト・チャイナユニオン大學の學生なること▲大川旅館に暴徒來襲の際その場に居合せた支那軍隊は拱手傍觀してゐたこと▲カナダメソヂスド病院の支那人看護婦は〃敵人に治療するなら自分らはストライキを起す〃と院長を脅迫し瀕死の重傷者を督辦公署に移した▲四川當局は中央の命により日本の總領事館再開並に物資調査を極力阻止すべく努めつゝあつたこと等をあげてゐる▲これを見ても成都事件は明かに中央の指示により起つたことは動かすべからざる事實であるが▲表面平和を口にする米國が何故に支那に加擔するかを靜かに考へるとき▲我々日本人の頭に或る何物かゞピンとくる筈だ▲問題はそう簡單には片付かぬ大いに褌をしめてかゝつてもらひたい

## 社説

### 支那の排日と對策
#### 黨部の教育と共同戰線論

一

支那國民黨が過去十餘年に亘り、民衆を敎育し指導して來た根本方針は、支那社會の根本的弱點である分裂的個人主義を排して、全體主義の世界觀の上に立つ國家主義的訓練であつた。それは、主權の確立、國權回復、關稅自主自立外交、租界回收、排日抗日等、いろいろの角度から訓練され、刺戟されて來たものであつて、そのやうな敎育指導が十年後の今日に於いて效果を現はして來たものである。今日、支那の靑年、學生、指導者階級の間にはナショナリズムが主流をなすに至つてゐる、そのナショナリズムの特性は抗日意識を强く織り込んで組み立てられてゐる、これは蔣政權のバックに大きく躍つてゐるものであり、最も注目されねばならぬものである。靑年敎育、學校敎育、民衆敎育、それらの分野に於いて國民政府、國民黨のやり方が今後どのやうにして行はれるかは、新しい日支の關係の設定を展望する場合第一に注視されねばならぬところである。

二

全民族の生死存亡に係る大問題として「抗日共同戰線」なる立場が說かれてゐる、一切の人力、財力、智力、物力を集中して全國總動員を實行せよ、黨派、人物を超越してこの共同戰線を打ち建てよと言ふのである。共同戰線内の各黨派は異つた主張を持つても構はぬ。政府と民衆、中央と地方とは異つた意見を持つても構はぬことに抗日救國に關する限りは共同一致が必要であるとする、そこには植民地半植民地に於ける反帝人民戰線の結成を最も重要なる任務となすコミンテルンの方針が貫かれてゐることが明瞭である、民族改良主義者の指導する運動に積極的に參加せねばならぬ。具體的な反帝綱領を基礎として改良主義的組織とも共同行動を達成せねばならぬといふのが去年八月の決議の一節であつた。

三

成都事件の落着未だこれを見ず、日滿の關心が支那の出線如何に懸つてゐるとき、報道ははやくも北支に於ける抗日機運の昂揚を傳へてゐる。或る論者は北支の明朗化を進展せしめることが、成都事件の實際的結論であるべきだと主張した。この言葉は深い意味を有してゐると考へられた、しかそに現實はすでにその困難さを思はしめるものがある、その源を淸め日支國交を確固たる基礎の上に調整するためには國民政府、並びに黨部に於ける深い反省が必要とされる、因循姑息なる手段は斷じて排されねばならぬ。それには支那全土に漲る排日、抗日は共同戰線への對策前提條件とならざるを得ぬ。

# 電力民有國營案
## 軍部の諒解を求む
### 近く閣議で決定か

【東京國通】電力統制强化に關しては目下四相會議で具體案を審議中であるが、廣田首相としては現下の時局に鑑み電力統制を强化し得る案でなければ、その目的を達成し得ないとし四相會議でも遞信省案を檢討し速かに適當なる具體案を決定する事を希望してゐる！而して電力統制强化について最も關心を持してゐるものは軍部であるから四相會議で結論を得れば、直ちに首相、藏相、陸相、海相の四相會議を開き軍部の諒解を求めた上閣議にかけ一氣に廟議を決する方針であるが閣議前に遞信省案絶對支持の態度を採つてゐる陸海兩相の諒解を求める事となれば自然に遞信省案に有利に展開すべく政府の具體案は民有國營案となるのではないかと觀られてゐる

## 電力國策案
### 海軍側は再檢討
#### ＝海軍側の意向＝

【東京國通】去る五日の電力國策第二回四相會議も遂に結論に達せず、而も閣内に於て遞信省案たる民有國營案に反對の空氣も相當濃厚なるものあり、四相會議の前途は樂觀を許さない、而して陸軍では既に遞信省案支持の態度を表明して居るが、海軍は當初同案支持の態度を示して居たが此際再檢討を爲すに決し、七日豐田軍務局長は大和田電氣局長より遞信省案の內容に關し詳細なる說明を聽取、研究した上海軍側の態度決定の段取りとなつた、而して電力國策に對する海軍側の意向は略々左の通りである

一、海軍としては電力を低廉豐富に供給するを第一目標として强力なる電力統制の必要を痛感して居る

一、就中電源の開發、發配電の徹底的合理化は急務中の急務であつて遞信省案も一つの有力なる實行方法と信ずるが之以上の具體的良案があれば贊成するに吝でない

一、國有國營は理想的であらうが財政上實行が困難だらうし民有民營は電力の國家統制上相當難點あるを免れぬ

## 六大銀行
### 上半期決算

【東京國通】六大銀行（三井、三菱、安田、第一、住友、三和）の上期に於ける營業成績は純益金に於て既報の如く十年下期の二千七百五十七萬三千圓から二千七百五十二萬七千圓とその間四萬六千圓の微減に止まり久しく續いた銀行業績の惡化傾向も漸く底入れのやうである、而してその內容を見るに貸付金利息は第二次低金利時代展開の影響が未だ全幅的に現はれないところへ一般に貸出しが膨脹を示した結果、前期に比し百七十七萬圓を增加し、その間割引料收入が若干の減少を示したことは注目される、更に注目すべきは株式配當收入の漸增と外國爲替賣買益金の顯著な減退傾向である、前者は一般的に見て株式所有の增大と增配から毎期增加の趨勢にあり、後者は正金の爲替統制發展によゐ各行の業務縮小含みの現象を物語つてゐる

## 濠毛以外の輸入に
### 奬勵金交附

【東京六日發國通】對濠洲羊毛輸入制限に備へる第一回羊毛輸入統制官民協議會は五日商工省で開催、濠洲以外からの羊毛輸入に關し協議した結果、南阿、南米等から輸入する羊毛に對しては關係輸出組合等から奬勵金を支出して輸入の促進を圖ることに決定その交附に關する具體的方法は來る十日から開始される南阿羊毛の買付相場、數量等を見た上で決定する事としその事務は先般設立された日本羊毛輸入統制協會がこれに當ることになつた

## 濠毛初市
### 各紙樂觀記事を掲ぐ

【シドニー五日發國通】シドニー市に於ゐ濠毛初市に就きヘラルド・テレグラフ紙等は當初頻りに樂觀的報道を掲げてゐたが、四日に至り初市第一週の成績は上毛の値段は滿足だが中毛以下は初日に比し五分以上の値下りを來してゐると報じてゐる、又デーリー・レーバー紙も現在の狀態が繼續すれば今シーズンの損失は約七百七十五萬磅に及び、在外資金に及ぼす影響は憂慮すべきものあり、日本當業者

# 我不買態度で
## 濠毛 果然惡人氣
### 買却率七割九分

【神戶國通】濠洲羊毛本年度最初の取引は去る八月卅一日から四日間シドニーに於いて行はれて居たが、日本向等級品の出荷制限にも拘らず我が毅然たる不買態度によつて果然人氣は甚だ惡く例年の九割八分乃至十割の買却に比べると本年は實に七割九分と言ふ慘憺たる數字を示し今後のセールに一大暗影を投げるに至つた、杵松商店調べによると四日間の出荷と買却高は左の如くである

| | 出荷 | 買却 | 買却率 |
|---|---|---|---|
| △第一日 | 一二、二〇〇俵 | 八、四〇〇俵 | 八割八分 |
| △第二日 | 八、二〇〇俵 | 六、六〇〇俵 | 八割〇分 |
| △第三日 | 一二、一〇〇俵 | 九、七〇〇俵 | 八割〇分 |
| △第四日 | 一二、五〇〇俵 | 八、三〇〇俵 | 六割三分 |

## 丁香廬漫筆（二五九）
### 國營官業の得失（四）

ナチス治下の獨逸は統制々々ではち切れ相だが、その獨逸で敢然として統制に服せぬ一グループが居る、エッケナー博士、レーマン飛行船長以下の飛行船關係幹部である。ナチスが新造飛行船にヒットラー號と命名せよと云ふても、勝手にヒンデンブルグ號と附けて了ふ。總選擧に全國を飛翔して宣傳ビラを撒けと云ふても我等の事業に政治は禁物だとあつて頑として應ぜぬ、流石のナチスに一指を觸るゝを許さぬ。然し此れで何等不都合は無い、グラーフゼッペリン號は依然として南大西洋の定期航空に從事してゐるがヒンデンブルグ號は獨逸レークハースト（紐約）間北大西洋の定期航空に乘出しつゝあり英國の飛行機に依る北大西洋航空に大なる衝擊を與へ、何とかせねばなるまいと頭痛鉢卷の態である、ナチスの統制から追ん出ても此丈けの業績を受けたら文句はあるまい。日本や滿洲でも八ヶ釜しく統制が叫ばるゝが事の大小こそあれ日本編洲にもエッケナーのやふな場合がある、下手な道普請同樣庶二無二ローラーで玉石倶に粉碎して仕舞ふのはちと考物であらう。

×

扨て保險國營に戾るが現在では各保險會社が人の嫌がる勸誘員を競爭的に四方に派して根氣競べで對手を陷落さしてる次第であるから、此を御役人の手に移したら十分の一恐くは百分の一の成績も擧がるまいと想像さるゝが、他の業務と異なりその方が却てお互の爲めでは無いか。但し何の保險會社も滿腹の腹鼓を打つて悅に入つて居るやふで無くては、いざと云ふときに公債の消化が六ヶ敷いといふなら問題は全然別である、そんなら一層のこと愛蘭土のスウィプ・スティークスのやふに大規模の國營富籤でも始めたら如何うだ。（終）

# 無盡業法（一）

第一條　本法に於て無盡と稱するは一定の口數と給付金額とを定め定期に掛金を拂込ましめ一口毎に抽籤、入札其の他類似の方法に依り掛金者に對し金錢の給付を爲すを謂ふ、無盡類似の方法に依り金錢有價證券又は其の他の財產の給付を爲すもの亦同じ

第二條　無盡業は財政部大臣の許可を受くるに非ざれば之を營むことを得ず

第三條　無盡業の許可を受けんとする者は申請書に定款事業方法を記載したる書面及無盡契約約款を添附し之を財政部大臣に提出すべし

第四條　無盡業は資本金五萬圓以上の株式會社に非ざれば之を營むことを得ず

第五條　無盡會社は其商號中に無盡なる文字を用ふべし無盡會社に非ざるものは其の商號中に無盡業者たることを示すべき文字を用ふることを得ず

第六條　無盡會社は他の業務を營むことを得ず

第七條　無盡會社の營業區域は之を定款中に記載すべし

第八條　無盡會社は左の場合に於ては財政部大臣の認可を受くべし

一　定款を變更せんとするとき

二　事業方法は無盡契約約款を變更せんとするとき

三　出張所又は代理店を設置せんとするとき

四　本店其の他營業所の位置を變更せんとするとき

五　取締役及監査役を定め又は之を變更せんとするとき

第九條　無盡會社は代理店主をして其の代理事務に關し代理店の出張所其の他の從たる營業所又は復代理店を設けしむることを得ず

無盡會社の代理店主は其の代理事務に關し代理店の出張所其の他の從たる營業所又は復代理店を設くることを得ず

第十條　無盡會社は左の方法に依るの外其の營業上の資金を運用することを得ず

一　國債、地方債、特別の法令に依り設立したる法人の債券又は株式其の他財政部大臣の指定する有價證券の買入

二　前號の有價證券又は不動產を擔保とする貸付

三　掛金者に對し既に拂込みたる金額を限度とする貸付

四　掛金者に對し既に拂込みたる金額を超過し契約給付金額を限度とする貸付

五　銀行及金融合作社への預け金又は郵便貯金

前項第四號の規定に依る貸付金總額は拂込資本金及諸準備金の總額を超ゆることを得ず

第十一條　無盡會社が會社財產を以て其の債務を完濟すること能はざるに至りたるときは無盡約款に基く會社の債務に付各取締役は連帶して其の辨濟の責に任す

前項の責任は取締役の退任登記前の債務に付退任登記後二年間仍存續す

第十二條　無盡會社並に其の取締役、監査役、使用人及代理店主は何人の名義を以てするを問はず自己の計算に於て其の會社と無盡契約を爲すことを得ず

第十三條　無盡會社は第一回の抽籤、入札其の他類似の方法を行ひたる後は掛金者の不利益に給付を變更し又は掛金額を增加することを得ず

第十四條　無盡會社は資本の總額に達する迄は利益を配當する毎に準備金として其の利益の十分の一以上を積立つべし

第十五條　無盡會社は財政部大臣の認可を受くるに非ざれば利益金の處分を爲すことを得ず

第十六條　無盡會社の營業年度は一月より六月迄及七月より十二月迄とす

第十七條　無盡會社は營業年度毎に業務報告書を作成して之を財政部大臣に提出すべし

第十八條　無盡會社は營業年度毎に財政部大臣の定むる樣式に依り貸借對照表を作成し新聞紙に依り公告すべし

第十九條　無盡會社の監査役は無盡會社の業務及財產の狀況に關する調査の結果を記載したる監査書を營業年度毎に作成して之を本店に備へ置くべし

## 北鮮管理局
### 現機構殘存か

全滿鐵道の一元化と滿鐵の機構改革に伴ない北鮮鐵道管理局は新に設置される牡丹江路局の管轄下におかれるのではあるまいかとの觀測が行はれてゐる、然し北鮮は滿洲における鐵道と自らその趣きを異にし總督府の監督下にあつて滿洲における鐵道の諸規程をその儘北鮮線に及ぼし得ない關係もありこれを牡丹江路局の管下に置くことは將來運營に支障を來すものと相當異論がある、しかも一般業者との連絡上にも不便多く北線における問題の折衝が悉く牡丹江に移される結果としてそれ等の解決に敏捷と圓滑を缺くことが豫想される、結局同局は現在の機構を殘存し適當に看板を塗り替へるであらうと見られてゐる

## 讀者の領分
投稿歡迎　中傷不可

### 不愉快な一男性へ
柊　海人

新京には と言ふよりも、滿洲に渡來してゐる日本人は夫々の立場に於て選ばれた者としての自負なり襟度なりを持してゐる人々のみと信じてゐた。然るに今朝刊（三〇日附）本欄に現はれた貴下の如き日本人あるを發見して私は同胞の一人として公憤を禁ずるを得ない。泥合戰も程々こそ御愛嬌あり。糞で糞たたくの醜狀に至つては臭氣紛々折角の貴重な紙面が台なしとなる。

新聞が天下の公器たるは如何なる無敎養な者も御存知の筈然るを私憤を發するさへもつての外なるに、讀者一般に迄も之を强ひようとする偏狹さに至つては貴下を啓蒙するの一大事たるを痛感する。「國家の不經濟」となる如き人間が一人でも日本國民に居ますか？「國外逐放」にしていいすか？畏くも上御一人は常に日本臣民が一人でもあるのでオホミタカラとして國民一人の末に至る迄も慈み、育まれて三千年に渉つて居るのです

ぞ！貴下は一體何の爲めに新京に居るのか？（乞御反省）日本九千萬同胞の一人でも不幸者のないことを理想として國家の捨石となりに來たのではないのか？（乞御三考）他人が女性を論ずる資格等の有無を許する以前に先づ自己反省をしてからのことだ。大御稜威の賜物で今日安穩と太平樂を並べ愚にもつかざる井戶端會議式言論を弄するは神人共に容るゝ處ではない。私達の周圍にうよ〳〵してゐる滿洲民族、漢民族（之が大部分だが）蒙古民族其他所謂五族が併存しようとしてゐるのだ日本人同志の私情私憤を以てする爭ひは一切止めようではないかて、在京日本人が三萬や五萬でお互に喧嘩してゐて若しも敵機の爆擊でも始まつた時は一體どうするつもりか？足らざるは補ひ、過ある者には親切に直諫す可きだ。偏狹疑惑嫉視を捨て、大和す可き非常時だぞ！貴下の放言は天に向つて唾するの類だ。同胞として情けないし他民族に對して顏向けが出來ない。仲好く親切にして大和民族の長所のみを發揮助長して行きたい。父母兄弟妻子に離れて生活してゐる人達が嘸かし多いことだろうと思ふがせめて他人乍らにもお互に相愛し合つて行かうではありませんかそれが新聞社も喜んで下さると思ひます。

八、三〇、

## 商況欄
（九月七日後場）

●上海標金　前引　一一三六、〇〇　後寄　—　歩　—

●大連金鈔票　現物　寄付　九九、九五　引　九九、九五　出來高　一萬

●九月十三日限　寄付　—　引　—　出來高　九月廿八日限　—

●大連鈔票銀大洋　現物　寄付　—　引　不申來　出來高　—

●上海爲替　日本向　第一回賣買　一〇〇、二三、三七五　第二回賣買　一〇〇、二三、六二五

倫敦向　第一回賣買　一志二片三二八分三　第二回賣買　—

紐育向　第一回賣買　三〇弗一六分三四分一　第二回賣買　—

●大連爲替　上海向　一〇二、六〇

煙台向　一〇二、六七五　一〇二、七〇　一〇二、七二五　出來高三萬

## 株式相場
▲大連株式（短期）

| 銘柄 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 五品新 | 一三五、九〇 | 一三〇、〇〇 |
| 豆新 | 一三〇、〇〇 | 一三五、四〇 |
| 鈔新 | 一三五、四〇 | 一三五、九〇 |
| 東新 | 一二三、九〇 | 一二三、七〇 |
| 滿鐵新 | 六一、七〇 | 六一、七〇 |
| 二新 | 三九、六〇 | 三九、六〇 |
| 日窯新 | 八一、五〇 | 八一、四〇 |
| 鐘天 | 一六五、八〇 | 一六五、八〇 |

## 各地商品市況
▲橫濱生糸

| | 前引 | 後寄 |
|---|---|---|
| 現物 | — | — |
| 當限 | 七三五、〇〇 | — |
| 先限 | 六九五、〇〇 | — |

## 手形交換高（七日）

| | 枚數 | 金額 |
|---|---|---|
| 金票 | 一六四五枚 | 三五六、四三三三 |
| 鈔票 | 一 | — |
| 國幣 | 三二四〇枚 | 三六〇、一七八一五 |

▲取引所株式（短期）

| 銘柄 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 滿取 | 一三六、一〇 | 一三五、九〇 |
| 東新 | 六八、七〇 | — |
| 大新 | 八一、〇八〇 | 八一、四〇 |
| 日窯 | 一六六、〇〇 | 一六五、七〇 |
| 鐘新 | 一六、〇〇 | — |
| 五品 | 二一、四〇 | — |
| 豆新 | 三九、七〇 | — |
| 二新 | 三七、七〇 | — |
| 電甲 | 三五、〇〇 | — |
| 東拓 | 三六、六〇 | — |
| 滿興 | 一九、三〇 | — |
| 滿毛 | 二〇、三〇 | — |
| 優先 | 二〇、三〇 | — |
| 日營 | 六九、一〇 | — |

## 新京取引市況
（九月七日後場）

現物（一石値段）

| | 寄 | 引 | 出來高 |
|---|---|---|---|
| 大豆 | — | — | — |
| 高粱 | 二、〇〇 | — | 二車 |
| 小豆 | — | — | — |
| 玉蜀黍 | — | — | — |

定期（混合百斤値段）

| | 寄 | 引 | 出來高 |
|---|---|---|---|
| 大豆 九月限 | 八、四〇 | 八、四〇 | 三車 |
| 十月限 | — | — | — |
| 十一月限 | 五、九五 | 五、八〇 | 三二車 |
| 高粱 九月限 | — | — | — |
| 十月限 | — | — | — |

## 鮮魚小賣相場
百匁に付（七日）

| 品名 | 最高 | 最低 |
|---|---|---|
| 活鯛 | 二一六 | 一三二 |
| 氷鯛 | … | … |
| 中鯛 | 四八 | 三四 |
| 連子鯛 | … | … |
| チヌ | … | 六〇 |
| アマ鯛 | 一三二 | … |
| イセエビ | … | … |
| 車エビ | … | … |
| ブリ | 四二 | … |
| ヒラマサ | 四二 | 一七 |
| マナカツオ | … | … |
| 黑鯛 | … | … |
| マクロ | 三一 | 一九 |
| カツオ | … | … |
| サハラ | … | … |
| 赤ムツ | 一八 | 一六 |
| イワシ | … | … |
| ニシン | 二四 | … |
| サバ | 一二 | 六 |
| アベ | 二一 | … |
| メバル | 二一 | 一二 |
| ヒラメ | 二二 | … |
| コチ | 三一 | … |
| コノシロ | … | … |
| ホーボー | … | … |
| ボラ | 四八 | … |
| キス | … | … |
| サヨリ | 三六 | 二六 |
| タコ | … | … |
| カニ | … | … |
| 小エビ | … | … |
| タイラギ | … | … |
| カレイ | … | … |
| 甲イカ | … | … |
| ワビ | 三四 | 三〇 |
| ンロナマコ | … | … |

# 國產自動車工業の確立に邁進する（上）

◇……實業部當局談

自動車は所謂「文明の利器」として、近代產業戰線上の花形戰士であり、人類文化生活の向上者でもあるが、同時に又近代科學兵器として、一朝有事の際には國防上の重責を荷負つて立つものであることを忘れてはならない。されば歐米諸國に於ては、夙に自國に於ける自動車工業の確立に之れ努め英、米、獨、佛、伊、蘇聯等の大國は言ふに及ばず其の他の中、小國に至るまで殆んど總て夫々自國の國產自動車工業と言ふものをもつて居る有樣である。

處が滿洲國は勿論のこと、日本國に於ても此の自動車工業に關する限り、著しく列强に立ち遲れて居る、他の諸工業が日進月歩、駸々として發展し、今や先進諸國の壘を摩さんとし、所謂舶來品を凌駕せんとして居る際に、自動車のみは猶依然として總て外國品に依存し、自動車と言へば「フオード」「シボレー」と一般に觀念せられて居る程左樣に國產自動車工業の影は薄い。誠に遺憾の極みである。滿洲國も日本國も、最近に至るまで、殆んど外國資本に依るフオード又ゼネラル・モータースの二社に依つて獨占せられて居たと言つてよい。僅かに軍用車及所謂中級車の一部に就て、國產數社が製造を行つて居る程度で、之も誠に微々たるものであつて、所謂「燒石に水」と謂はうか、「九牛の一毛」と謂はうか、兎に角問題にならない程度のものである。

滿洲に於ける國產自動車工業は同和自動車工業株式會社に依つて代表せられて居る。處が之の母體は日本の國產自動車工業であるから、滿洲の國產自動車工業を語る前に、一應日本の自動車工業に遡つて考察せねばならない。

日本に於て自動車工業に關心を持たれたのは、久しい以前からの事であつて、最初に具體的施設を爲したのは陸軍省である。即ち大正七年三月、國防整備の見地から軍用自動車補助法を制定し、爾來今日まで引續き貨物自動車の車臺の製造及其の使用、保有を保護、助長して居る。鐵道省亦獨自の見地より自動車の研究を進め來つて、省營バスに國產自動車の使用を試みんとして居る。產業官廳たる商工省に於ても這般の情勢に鑑み、昭和六年頃より急に國產自動車工業の育成に力瘤を入れ始め、今日の所謂標準型自動車（商工省標準型）の規格を制定し「ちよだ號」「いすゞ號」「すみだ號」等の出現となつたのである。更に極く最近に至つては、政府側に於ける自動車工業法の制定公布と相俟ち、「とよだ」「日產」等の所謂大衆車の出現を見、從來全く「フオード」「シボレー」の蹂躪下に在つた日本の國產自動車工業が、敢然起つて此等二大强敵に挑戰せんとする時代に迄立ち至つた。思へば隨分急激の進歩である。

處で滿洲は如何。滿洲に於ては建國後逸早く、日滿合作の自動車國策代行機關とも謂ふべき特殊會社同和自動車工業株式會社が設立せられ、主として標準型自動車、陸軍保護六輪車の製作、販賣に從事し國產自動車の普及に專ら努め來つた次第である。尤も自動車の製作と言つても。元來自動車工業は綜合的工業であつて、三千餘種類の部品の組合せの上に一臺の自動車が成立すると言ふ樣なものであるのだが此等部品を全部滿洲に於て製造すると言ふは仲々困難な事でもあるし、又日滿ブロツク經濟の見地からも、正面から日本の自動車工業と打つかる樣な事は可及的避ける意味に於て、先づ差當りは日本國產部品をバラバラの形に於て滿洲に持ち來り、之を滿洲に於て組立てると言ふ程度に止めて居る。」

# 奥地向果實野菜のスピード輸送

## 連、海間九十時間輸送計畫

【奉天國通】總局では果實の奥地輸送に新機軸を圖る爲め大連・ハイラル間を社線、國線の特別連絡によつて九十時間輸送計畫を樹立、第一回試驗輸送として四日夜大連發列車でバナナ、林檎、水蜜桃等の果實を發送したが試驗の結果豫期の成績を擧げ得れば近く本格的奥地向果實、野菜類の特殊連絡スピード輸送を開始する筈である

## 内田新福州總領事 離齊東上

【チチハル國通】福州總領事に榮轉の内田領事は後任の田中領事を迎へて五日午前領事館で事務引繼をすませ、同日午後三時十分發列車で家族同伴在齊日滿軍官民、生徒兒童の見送の中に思出のチチハルをあとに南下一路東上したが離齊に先立ち左の感想談を爲した

昭和七年三月着任以來今日迄色々御世話になりました着任當時五百餘名の在留邦人が現在では八千人に近い發展振りだが此の飛躍的增加を見て去るのは心殘りである後任の田中君は手腕力量とも自分より勝れた人だから信頼して赴任する事が出來る

## 田中チチハル領事着任

新任チチハル領事田中氏は四日着列車にて官民多數の出迎へを受け着任した（寫眞は前任内田領事と握手する田中領事）

## 鈴木大尉着任

【ハルビン國通】三河特務機關長よりハルビン特務機關第三班長に榮轉の鈴木勇雄大尉は五日午後三時十分着列車で着任した

## 瓦房店の記念日行事

【瓦房店支局】滿洲事變突發の九・一八を記念せんとする瓦房店市民は左記の催しをなし當日を意義あらしむる事になつた

一、國旗掲揚式午前九時より（日滿グランド）

一、慰靈祭（右終了直後同所において）

旗行列瓦房店炭鑛の高脚踊も同列して慰靈祭終了を待つて日滿グランド出發縣廳守備隊、神社前、警察署、地方事務所を經驛前にて解散

一、警備演習（午後四時より六時三十分迄の間守備隊在郷警察學生等參列）

一、映畫（午後七時より復縣公會堂において）

一、默禱（午後十時サイレンにて合國各家戸外にて行つふ）

## ハルビン神社 秋祭り賑かに終る

【ハルビン國通】ハルビン神社秋季大祭は四日の宵宮祭に始まり五日の本祭は午前十一時より植村神官祭主、關東軍軍司令官代理日滿各機關代表その他多數參列の下に祭典執行、尚ほ午後よりは境内に於て奉納相撲、カフエ組合の演藝等の賑かな催しあり、市内には宵宮に引續き各町内の御輿は赤、白、黄とりどりの掛聲も勇ましく練り歩きその日一日は全市擧げて祭典氣分に塗りつぶされた

# 治安維持の萬全期し 安東省警務局長會議

## 指導官會議、保甲會議も開催

【安東國通】安東省公署では今秋に於る治安維持の萬全を期するため來る廿四、五兩日に亘り第二回警務局長、指導官會議を行ふ事となつた、第一日は省長、警務廳長、民政部大臣、警務司長の訓辭に次ぎ園部部隊長、三浦奉天特務機關長、田中安東特務機關長其他の講演、第二日は省並に部外からの注意、希望事項、縣よりの意見、希望等の開陳あつて會議を終了する豫定、尚廿六日は保甲會議を開催の筈である

## 南鮮風水害で知事會議中止

【京城支局】總督總監の着任に依り初顔合の意味で臨時知事會議が開催される筈であつたが突然的南鮮地方の風水慘禍で救濟復舊對策が急がれてゐるため余裕なく又同會議招集の必要なきものとして中止し突發的理由のない限り來年四五月頃定例知事會議を開催するの外は招集せざることになつた尚之れがため總督、總監の新方策傳授は臨時に各道知事と面接して行ふことになつた

## 前田奉天省警務廳長 新任披露宴

【奉天國通】新任奉天省警務廳長前田良治氏は五日午後六時よりヤマトホテルに園部本部隊長、三浦特務機關長、宇佐美總領事、葆省長、竹内總務廳長、于第一軍管區司令官を始め在奉日滿官民二百名を招待盛大な新任披露宴を張つた

## 愛路村長視察團 南滿視察

【ハルビン國通】水運局主催の第二回哈同部水路並に自動車路愛路村長の南滿視察團一行廿一名は五日午後一時發列車で新京に向つた、一行は新京を振出しに公主嶺、奉天、撫順、大連等南滿各主要都市の產業交通狀態を詳細に視察し、十九日ハルビンへ歸還の豫定である

## 英文總局事業概要 各國へ送附

【奉天國通】鐵路總局では國鐵の素晴しい發展振りを世界各國に紹介する爲め豫てより英文鐵路總局事業概要を編纂中であつたが此の程完成を見たので五千部を去る二十八日世界各國關係筋に送附した、右は全グラビヤ版六十四頁の美麗なものでその中には滿洲情緒豐かな數種の寫眞がもられてあり各方面から好評を博するものと期待されて居る、

（カットは滿洲國郵局記念スタンプ、滿洲里）

# 新興滿洲帝國と在滿在郷軍人（完）

## 關東軍參謀から

### 六、在滿在郷軍人の狀況

在郷軍人は、滿洲國に於ても、亦、邦人の中堅となり、在隊間に錬成せられた國家的信念と、不屈不撓の體力氣力とを以て、對滿國策の遂行に從事すべき、重大なる實務を有する。

現在、在郷軍人の分布狀態を見るに、多くは、滿鐵或は國鐵沿線に在住し、且つその大半は、俸給生活を營んでゐるが、眞の日滿一體觀念を、他民族に徹底せしむるには、在郷軍人は、僻陬の地に至るまで、普く居住し、素朴なる住民と、共に働き、共に語らひ以て、之が啓蒙に專念することが極めて必要である。

滿洲國の基礎充實に伴ひ、奥地方面の開拓經營、漸次進展の氣運に向ひ、佳木斯彌榮村、千振、綏稜、閣山、永豐鎭等には、在郷軍人の集團的農業移民安住し、その經營亦順調に進展してゐる。

1、在滿郷軍組織の概要

關東軍司令部内に、聯合支部あり、參謀副長が、聯合支部長として、關東州及滿洲全域に亘り、その業務を統轄し、又、奉天省、錦州省、熱河省管内に於ては、[illegible]支部を設け、獨立守備隊大隊長、又は聯隊附佐官が、支部長として其業務を統轄してゐる。

僻陬の地なるが爲、支部の結成未だ不可能なる爲、支部に屬せぬ分會は、聯合支部の直屬としてあるが、事實此等の分會に對しては、聯合支部の指導周到を期し難いので、已むを得ず、附近に駐在する部隊、又は、特務機關長に、之が監督指導を依囑し、其不備を補つてゐる狀況である。

目下全滿には、九支部、六聯合分會があつて、直屬分會を合し、一[illegible]三分會となり、事變以來、九四分會を增加し、尚、逐次增加の景況にある。

又、渡滿者頓に增加したると、異動極めて頻繁なる爲軍人會に入會しないもの、全員の約三分の一以上に達してゐるのは、甚だ、遺憾とする所である。

2、警備團の編成

滿洲事變前に於ては、各分會では、自警團、義勇團などを組織し、有事の際に備へてゐたが、事變勃發以來は、之を統一し、その内容を充實するの急務なるを感じ、昭和六年十一月、警備團と改稱して、編成裝備を改善し、活動力の增進を圖つてゐる。而して、その目的とする所は、軍隊の後援となり、必要の際、居住地又は、其近接地に於て、軍隊の行動を援助し、或は、各居住地の防衛に任じ、情況に依ては、警備官憲と協同して、居住地の治安維持に、協助するにある。

而して、その行爲の發動に關しては、其地駐屯地司令官、或は警備官憲の、承認を受くるを要することゝなつてゐる。

3、活動狀況

事變以來、各分會は平素の修養訓練に基き、その地駐屯軍隊の出動に方りては、直に警備團を組織し、之に代つて、警備並在留邦人の保護に任じて、大なる功績を擧げた。

即ち鳳凰城、撫順、鞍山、大石橋、營口等に於ては、匪賊襲擊に際し、僅少なる會員を以て、優勢なる匪賊を擊退し、又、哈爾濱、齊々哈爾、吉林等に於ては、長期間、孤立無援の苦境にあつて、能く、特務機關と運命を共にし、その指揮の下に、邦人を保護し、又、移民團を以て組織する彌榮村、千振、佳木斯分會等に於ては、屢々、匪賊の來襲を受けたが、毅然として、自己の使命を遂行した。其他熱河及河北聖戰に於ては會員の一部は、通譯、運轉手となり、又は車馬徴發に任じ、軍隊に伍して、軍の行動を、直接支援したる等事變に貢獻したる事は、枚擧に遑がない。

又、國防思想の普及、皇軍慰問等、銃後の後援に努め眞に、在滿同胞の中堅として活躍せる事蹟は、周知の事實である。

4、かくて、在滿郷軍は、平時、既に、滿洲國構成分子の中堅たるの重大使命を有するのみならず、一朝有事に際しては、直に起つて、國防の最前線に、活躍すべき、特殊使命を有するのであるから、平素特に、服役義務の履行、軍事能力の增進、應召準備の完備を計り第一線郷軍の、士氣と實力とを向上し、以て、國策遂行の堅實なる先驅となり、國防上、偉大なる潛在戰力とならねばならぬ。

### 結言

以上、日滿關係の再認識と滿洲國の現狀に就て述べたのであるが、要は、滿洲國建國精神、日滿不可分、一德一心の關係、並在滿在郷軍人の特殊使命を、十分に認識し、一致協力、不退轉の決意を以て聖業の貫徹に、邁進するにある。

今や、時局の永續に伴ひ、動もすれば、國民精神に弛緩を來し、小成に安んぜんとする傾向なしとせぬ。滿洲國は固より健實なる發展を遂げつゝあるが、建國の大業は、今漸く、その第一階梯を過ぎたるに過ぎない。その大成は、今後の努力に、俟たねばならぬ、更に、日滿を繞る國際情勢は、決して、一日の偸安を許さず、兩國の前途には、尚幾多の障碍、横はりあることを認識し、軍官民協力一致、以て、皇道宣布に基く、大陸政策の遂行に、邁進することが緊要である。

家庭

# 氣候の變り目 秋口は傳染病が蔓延します

## 生活は凡て規則的にしませう

（秋）とはいつても九月は未だ殘暑が相當にきびしく、殊に朝夕の涼しさにひきかへ、日中は暑さが嚴しいです。又九月は所謂氣候の變り目に相當し二百十日、廿日頃の嵐を始め降雨が多く、夏から秋への變り目で[illegible]氣候が急變して寒い過程に入ります。又降雨の氾濫の爲めに飲料水が濁り、[illegible]不潔物が[illegible]地方や街方でよく赤痢やチフスがはやるものも九月であります。

（從）つてかやうな氣候の變り目に[illegible]身體も亦相當に[illegible]たにして[illegible]

注意すべきは秋口に於ける不[illegible]であり、守るべきは（規）則的な生活であります。小兒や虚弱な人は朝夕の冷氣に際しうつかり風邪をひき込むことの無い樣に衣服や寢具の調節が注意されねばなりません。又夏の運動がすぎて過勞をきたしてゐるやうな人はこの際一歩退いて衞生的生活を守り失はれた心身の恢復を心がけ決して續く過勞から發病をみる過ちを敢てしてはなりません。併しながらもう一息です十月に入つて氣候がすつかり落ついて了へば自ら身も心も緊つてゆきます、萬物稔る秋天高く馬肥ゆる秋この秋こそ積極的な鍛錬を行ふによく又好適な時期[illegible]

鍛へとはかり餘りに度をすぎた運動を行つた結果が、また海や山でのその生活が必ずしも衞生[illegible]

れまでのもう少しの辛棒、衞生的規則的生活こそ今は望ましいのです。

□……實の秋……□

## 偏食すると— 齲齒になる

▽……榮養不良の最大原因は偏食に基くことは誰れもが知るところですが、此の食物の偏食は榮養不良を引き起すだけでなくムシ齒の原因も又そこから出發して來るのです。文明の進歩に從つてムシ齒數が非常に増加して來たのは一は攝取する食物が柔かになつて來たのと、從つて食物が齒に對して融着し易くなつた事と更に又砂糖の攝取量の増加にもその原因はあるものの、もつと根本的なものとして實に食物の偏食にあるのです。

▽……即ち糖分に限らず脂肪蛋白質にしても何れかを常に偏食の習慣を持つた場合には身體中の血液が變つて酸性となり、血液アチドーシスといふものを起し、身體中のカルシウム分を以て之れを補はなければ血液をアルカリ性に導く事が出來ないので、從つて身體中のカルシウムの必要な場所、即ち齒とか、骨等にカルシウムがつかないといふことになるのです。で斯樣にムシ齒の一の原因は以上の樣な食物の偏食による內部的原因から來ることが明かになつた今日、子供達のオヤツにも努めて糖分とか一方に偏したものをさけ、つとめて榮養素の適當に配合されたものを與へる樣に心がけて頂き度いと思ひます。つまりムシ齒は口腔內の不潔といふよりも、よく榮養された齒は決してムシ齒にならなと云ふ事を記憶して戴きたいものです。

## 秋風が吹く頃は よく夢を見る 怎うしてでせう

○…秋の夜は長く、そしてシーツの感觸も快い、聖人でなくともさわやかな秋の夜こそは夢も見ないで眠れさうですところが『夢は秋』といつて秋は夢を見やすいのですこれはどうした譯でせうか？

○…それには夢と肉體乃至精神との關係を考へればわかります、昔から夢は五臟の疲れといふやうに夢といふものは肉體と精神が疲勞した時に最も多く見るものです、それもたゞ單に快く疲れてしまつては夢はありません。

○…少しむづかしいいひ方ですが肉體と精神が昂奮するやうな疲れ方の時です、だから肉體も精神もぐつたり骨拔きに疲勞する酷暑の夏が過ぎて秋風のおとづれと共にその肉體や精神は次第に回復して來ます、換言すれば肉體と精神が破れた平衡狀態から復歸して來ます、この時過渡期にある肉體と精神は已れ自らのうちにある平準作用の動搖からしばしば夢を見るやうな狀態になつて行きます、だから肉體と精神の安定してゐる聖者は夢を見ないのです。



# お奬めしたい 行ひの記錄表

## 決して强制しないで 子供の氣持を尊重なさい

惡戯盛りのお子達の多いご家庭で子供に關する毎日々々の行ひの記錄表をお作りになることは、家庭教育の上に有益な事と思ひます併し乍らこれはあくまで（自發）的にやらせる事ですつきりと育つてゐるお子さん方に無理に强制する樣な事は愼まなければなりません、この行ひの表を作りますと、必ずわがまゝな子供を（從順）にしたり、輕率な子供を考へ深くさせることに成功するものです此の記錄表は、毎週の始め、即ち日曜日に改め、次の土曜日かの晩には必ず破りすて、子供に不愉快な氣持をいつまでも抱かせない樣にして下さい、それにはまづ欄を七つ設け、一週七日の記錄が日毎に書き入れられる樣にし、又上下に幾つもの區切りが出來る樣にして於て、毎日の（行爲）の服從、丁寧、寛大、親切、忍耐、好氣嫌、清潔、勉强、自制、善課、善行等を記す欄といたします、例へば、子供が素直に服從の實を示した時にはその日の服從欄には赤で○か△の印しを書き入れ、若し不從順であつた時には反對に黑く書き入れる樣にします、同樣に人々に親切であつたり、正直であつたりした場合は一々その欄に各々の印しを書き入れます、そして一週間終りの即土曜の晩邊りから家族打ち揃つて行ひの（調査）を致します、それは赤が多いか、黑が多いかを調べるのです、赤が多かつた場合には何か子供のすきな物を與へるとか褒めるとかすると子供は大變喜びます。又黑が多かつたときには子供は失望するでせう、その時でも叱る樣な事は愼しまねばなりません。それでその表は破りすてゝ次の週は又新しい表を作るのです立派な行爲のあつた週の表は、記念として取つておくのも（面白）いでせう、以上の樣な事は家庭で簡單に出來る事であり、又こども、この事が幾分でも有益だらうと思召しになりましたら、早速お試みになつては如何です。繰返すやうですが、强制的行爲はさける事です。

# 鯊 物語

## “口ひろく鰓大きく 貪食の王” 仲々オツな風味がある

ハゼ—殊にダボハゼは、他の魚よりも輕蔑されてゐてさういふ言葉が東京では直ちに皮肉な意味を豫想する程です、ハゼでも釣つて來い—ダボハゼのやうに食ふ—とか、ダボハゼの域を脱しない—などとスケート場で言はれる言葉も、凡て侮蔑の意味が含まれてゐます、だが昔の人は、秋の彼岸ハゼは不老長壽の妙藥とさへ言つてゐるのです、近代人はハゼの習性を、昔の方々はハゼの味をみつめたことから、斯うした差異が生れたものかも知れません。

× ×

ハゼと一口に言つても、その種類は約五十種もあり、分布狀態も廿尋位の深海から、湖沼、河川等にまで及んでゐます、最も有名なのは金澤を中心とする北陸地方の河川からとれるゴリハゼ、近浦のマハゼ、入郎潟、霞ケ浦の佃煮として賞美される小ハゼ等ですが、魚類の中でも貪食の代表者であるアンカウ、サメなどのサメ類に略ぼ匹敵する程、ハゼも相當な大食家で、虫でも草でも、手當り次第に腹に入れて了ひます。

× ×

岸近くにへばりついてゐるのも、此れの生つきの貪食さの然らしむる所なのです、唯でさへ旺盛なその食慾は秋へ入ると更に猛然と勢ひを增します、これは食物の少い寒い冬を越すに足るだけの體力と冬がすぎ春を迎へて直ちに營まねばならぬ生殖、産卵の場合の榮養分を攝取しておくためなのです、ですから所謂彼岸ハゼは、脂肪も肉も榮養分もその頂上に達した時で、風味も他の季節とは比較にならぬ程上々であるわけです。

× ×

ハゼでなければならぬと云はれてゐるお正月の雜煮のダシも秋から冬へかけてのものが勿論最上です貴重なすてがたい榮養價と、サラリとした風味を持つたハゼが捨ててかへりみられぬのも、鯛やマグロの刺身などに馴れすぎた結果でせう。

× ×

昔の人と、貪食な習性のためにこれを輕蔑した今の人との見方の相違が此のハゼにも現はれてゐて面白いことです。

## けふの番組

（M・T・O・Y 新京放送局）八日（火曜日）

**朝**

六、〇〇 建國體操
六、二〇 ラヂオ體操（東京）
六、四〇 中等滿洲語講座（大連）
講師 秩父 固太郎
七、〇〇 中等日本語講座（奉天）
講師 近藤 喜助
七、二〇 氣象通報（大連）
引續き 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、〇〇 早晨演奏（大連）
九、二〇 料理獻立（大連）
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 家庭講座（哈爾濱）
一〇、二五 家庭メモ

**晝**

一〇、三五 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）
一〇、五九 時報（東京）
一一、四〇 ニュース（東京、新京）
〇、〇一 經濟市況（大連、新京）
〇、二〇 晝の演藝（レコード）
〇、四〇 建國體操（奉天）
一、〇〇 白天演藝
京津大鼓 馬鞍山 劉寶珠
唱 絃子 王連元
四胡 王春亭
一、二〇 ニュース・（滿語）
一、三〇 成人講座

一、五〇 關於金融合作社 財政部銀行科 崔正儒
二、〇〇 經濟市況（大連）
下午演奏
二、五〇 日用品値段（滿語）
引續き 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京、新京）
三、三〇 經濟市況（大連、新京）
四、三〇 ニュース、演藝（餅語）
四、五〇 ニュース（英語）
五、〇〇 子供の時間（大阪）
コドモ日本史（九）
豐臣秀吉
大阪國史劇研究會
五、二〇 コドモの新聞（東京）
五、二五 氣象通報、番組豫告 村岡花子

**夜**

六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 今晩の番組、官廳公示
六、二五 政府公報（滿語）
六、三〇 講演（東京）
液體燃料と其國策
海軍中將男爵 坂本俊篤
七、〇〇 清元（東京）
千羽鶴空麗 永井素番作詞
清元延壽太夫作曲
淨瑠璃 清元延千嘉外
三味線 清先延千嘉柳
七、三〇 三曲（東京）
揖枕
三絃 川瀬里子
箏 小林玉枝
尺八 川瀬悌二
七、五〇 ラヂオレヴユー（東京）
東京チヨンキナ 伊藤松雄・作
配役
東京チヨンキナの歌手
野球の歌手
漫談 古川綠波
遊覽バス女車掌 柏正子
同運轉手 白川道太郎
出演 古川綠波一座
八、三〇 時報、ニュース（東京）
引續き ニュース
八、四五 ニュース 經濟市況
氣象通報、番組豫告（滿語）
九、〇〇 舊劇（奉天）
玉堂春
一〇、〇〇 奉天放送局國劇研究部
北辯時間（哈爾濱）

# 文藝

## 支那最近代文化史資料二つ（上）

山口慎一

伍啓元氏著「中國新文化運動概觀」（一九三四年、上海現代書局出版）は菊判百八十頁の本であるが、支那最近代の文化史を研究する者には、手頃な、便利な本であると言へやう。この本の內容は

上篇
第一章　緒論
第二章　社會の變革と思想の轉變
第三章　文學革命運動と新文化運動
第四章　實驗主義及び其他
第五章　疑古思潮の澎湃
第六章　國故整理およびそれに對する批評
第七章　唯物的辯證法

下篇
第八章　引言
第九章　人生觀の論戰
第十章　東西文化の討論
第十一章　文藝論戰
第十二章　政治問題の討論
第十三章　社會史の論戰
第十四章　結論

—以上のやうに編成されてゐる。

著者が自序に「中國現代の一切の變遷、殊に現代學術思想の史的發展を研究することは異常に困難である。一つには中國になほ完備した雜誌論文の引用すべきものがなく、又立派な新書目錄もない、ために材料の蒐集に甚だ困難を覺えるからである」と書いてゐるのは、誰しも同感であらう。

ところで、この本に引用されてゐる資料を拾つてゆくと支那最近代の文化史資料の大略は判る筈である。すなはち、

梁啓超「清代學術概論」
胡適「胡適文存」二集、三集
胡先「中國文學改良論」
陳炳「最近三十年中國文學史」
顧頡剛編著「古史辨」第一册、第二册
吳稚暉「吳稚暉學術論著」
梁漱溟「東西文化及其哲學」
李何麟編「中國文藝論戰」
丁丁編「革命文學論」
蘇汶編「文藝自由論辯集」
胡適・羅隆基・梁實秋「人權論集」
梁漱溟「村治」
陶希聖「中國社會之史的分析」
同「中國社會與中國革命」
同「中國社會現象拾零」
同「中國封建社會史」
朱其華「中國社會的經濟結構」
同「中國經濟危機及其前途」
郭沫若「中國古代社會研究」
任曙「中國經濟研究緒論」
嚴靈峰「中國經濟問題研究」
孫倬章「怎樣幹」
胡秋原「亞細亞生產方式與專制主義論」
「讀書雜誌」特輯中國社會史論戰
「新生命」
「新思潮」

等々がその主要なるものである。

## 日本綜合美術展鑑賞（3）

### 岡田三郎助氏作「伊豆風景」

池邊青李

最近國務院の壁繪を描いた岡田氏は日本洋書壇の元老として我々により親しみ深い。その書梁も一段と品格を持し、よく日本書壇の最高峯をゆくものである。これは昨秋の作ではあるが、實に心にくいまで磨きのかゝつたもので、一見平凡な書面ではあるが、內にふくまれた人格と滋味はしみじみと我々をひきつけるものがある。數本の松の木とよく晴れた空と、黃色く枯れた草原、更に遠くにかすむ山並は見てゐるうちにいつしか畵の中に遊ばしてくれる。その構成も實にガッチリしたもので平凡な內に一點のすきも見せない、まことに麗はしい作である。

## 雜詠

西口正

演習する銃音聞ゆ此の眞晝兵舍の屋根に光る夏の日
鐵塔のそゝりの高し八月の朝の空の晴れてさやけし
露にしとどぬれし木群が下ゆけば淸き香の胸につききぬ
片側ゆ並木は金に染めちれつ夏の夕べの靜けき一時
深々と物思ふ秋となりにけりコスモスの花の亂れ咲く庭
靑嵐に吹かれて凉し午下り木の下道をゆたに步めり
夏の夜の雨上りたる大空に白雲わきて月の冴え出ぬ
しとど露の重みに耐えて若竹の梢はやゝにかたむきてゐぬ

## ラヂオドラマ　想ひ起せ乃木將軍（3）

第一景　西那須野乃木將軍の閑居

溫顔笑をたゝへて去り行く後姿を見送る門邊の將軍の面を折からの夕日は赫々と照し出してをります
其の後に近づいた人將軍の友石黒軍醫總監でありました

石黒　乃木さん
乃木　石黒君
石黒　しばらく、しばらくでした
乃木　しばらく、今日はどうして
石黒　演習の見學にそして遣方を尋ね樣と思つて
乃木　いやわしも今歸つた　さあお入り　靜、靜　石黒さんが見へられた
靜子　まあ　しばらくで御座いました
石黒　御機嫌宜ろしう　ア、乃木さん先日は又有難う、結構な物を澤山送つて呉れて
乃木　喰べたか
石黒　結構でした
乃木　手作りじゃよ　態々百姓も本職ぢゃハヽヽ、
石黒　一句を作るより田を作れですかな
乃木　百姓が一番いゝよ
石黒　乃木さん　而し今日はわしは貴方の本心を伺ひにやつて來ました
乃木　わしの本心
石黒　どうです東京へ出なさらんか貴方は第一今日の時局をどう見て居なさる　山縣さん兒玉の話も有り今日こそ是非貴方の本心を伺ひ度い
乃木　わしの本心
石黒　左樣です此の那須野で國家非常時の今日徒らに百姓されるのが貴方の本心ではありますまい
乃木　ウン夫りアわしにも考へはある
石黒　其れを是非伺ひ度い
乃木　口じや言へん
石黒　何に口じや言へん
乃木　書いて上げよう
石黒　書いて　いやそうでせう　矢張り貴方は決心して居られると見へる　口じや言へん　書いて是非其の決心を示して頂き度い
乃木　宜ろしい書いて上げ樣　靜　すゞりと料紙を

□奏樂

●解說　乃木將軍より其の決心を示す一書を言はれて渡された料紙を取り上げた石黒軍醫總監は流石に非常に緊張しました

石黒　何に　ナスノニテ　人トワバ　ナストカボチヤヲ　喰ウテヘヲこく
乃木　ナストカボチヤを喰うてへをこく
石黒　ハヽヽ、茄子と南瓜を喰うてへをこく
乃木　ハヽヽ、此れや宜い、此れやいゝ
石黒　此りアやられた　ハヽヽ
乃木　石黒君　ハヽヽ

□奏樂

## 官場現形記（150）

李寶嘉作
大內隆雄譯

—第十三回の六—

第三には趙不了である。趙は蘭仙と仲好しになつた。彼はまだ彼女に何にも與へなかつたが、何れは何かを買つてやらうと考へてゐた。人間、妓女をやつて居れば、良かれ惡しかれ何れにせよ、何物も得ないといふことは無いわけである。

第四には周である。彼の船には王と黃がゐたが、彼等は多年慾を絕つてゐたのである周だけが酒を飮み、それには招弟を聘んだ。大した事はやらなかつたのだが、やはり商賣にはなつたのである。

その外、胡大人の傍に從ふ連中がゐた。彼等は夜船が停ると、こつそり船尾の方に行つて阿片を吸ひ、こそこそとやつたものである。彼等も相當に金を使はざるを得なかつた。

船の連中にはさういふ商賣があつたのである。だから船をやれるだけの水量があつても、決して速度を出しては駛らなかつたのである。時には晝は七十支里進んで、晚には三十支里を戾るといふやうな具合であつた。斯うして二日餘りの道のりが、六日進んでもまだ到着せぬ有樣だつた！

×　×

趙不了の事を述べる。蘭仙が燕菜を彼に食はせてから、二人は仲良しになつて來たのであつた。趙不了はそこで又酒を買つて女の顔を立ててやる事にした。更に自分が常に腰に下げてゐた祖先傳來の一個の漢玉を取り出して蘭仙に贈らうとした。蘭仙はそれが石塊みたいなのを嫌つて、要らないと言つた。趙は仕方無く元にをさめ、やはり腰帶にくくりつけた。これではどうも面子上具合が惡い。で言つたものである。

「今は旅中だから何も君にやるやうな好いものが無い。あとで省城に歸つたら、間違ひ無しに金の腕環を一と揃ひやらう。何百元するか知らんがそんな事は問題ぢやない」

江山船などに來つてゐる女は、廣い世間を見てはゐない。彼の言葉を聽いて、これは本當にいいお客だと思ひ込んだのであつた。そこで彼女は大いにサアヴイスにつとめたものである。これは趙をしていよいよ以つて「五體投地」といふやうな境地に至らしめたつひに蘭仙を以つて彼は第一の「知己」なりとし、自分の女房ごときは第二なりとしてしまつたのだつた。その蘭仙が彼に五十元欲しいわ、と言つた。彼は持つてゐないのである、文がこの數日湯水のやうに錢を費つてゐるのを見て文は餘裕があるんだ、文から借りてやらうと考へた。それにしても文から笑はれては困ると思ふ。が蘭仙からしつこくねだられ、えゝい面の皮を厚くして借りてやれと、文に向つて相談した。ところが文は早速承諾したのであつた。直ちに枕許の箱の中から百元這入つてゐる包みを取り出しその半分を趙に渡した。

趙はそれを見てゐて心中後悔した、早くこんな事と知つてゐたら、文から百元借りる所だつた、今五十元受取つた所で、それを悉く蘭仙に取られてしまつたら、おれは空っぽだ——と。

さう思つてゐる間に、文はその殘つた五十元を包んでしまつて、箱に入れ、鍵をかけたのだつた。趙は何とも言ふことが出來ず、お禮を言つて兩の手で錢を持つて部屋を出た。ひと時と經たぬ間に、それは蘭仙の手に移つてゐたのである。（つゞく）

# 慢性胃腸病にはアイフ

## 下痢腹痛、食慾不振の因はこれ！

胃腸病も慢性になると食慾が衰へる許りでなく、頻繁な下痢のために衰弱が目立ち、榮養が著しく低下しますから、誰しも榮養偏重に陥り易いものでありますが、肝臓の消化吸收機能が極度に衰退してゐるうちは、未消化の榮養素等補給したところで徒勞に終り易く、胃腸組織の强化や榮養の充實等容易に望めるものではありません。それよりも食慾不振の因を除き、下痢腹痛の源を塞ぐのが胃腸病治療の急所であり、榮養恢復の捷徑でなくてはなりません。

ところが慢性胃腸病に於ける障害は極めて複雜で、暴飲暴食、咀嚼不充分等、長い間の無理や不攝生が遠因をなし、刺戟が蓄積せられて胃腸粘膜の炎症から疵や爛れが出來、胃腸筋肉も弛緩して無力狀態となつてゐるものでありますから、胸やけ、噯氣、むかつきがあるかと思へば、胃部の停滯、壓迫、膨滿の感じもあり、嘔吐もあれば胃痛、腹痛、下痢、便秘もあると言つた風に種々の症狀が錯綜して來るものであります。ですから、一つの症狀だけを捉へて消化不良だ、胃酸過多だと決めて了ふのは早計で、單に胃酸過多と言ひ、消化不良、食慾不振と言つても、その症狀の蔭には往々胃腸カタルあり、胃弛緩症あり、胃下垂、胃擴張あるものですから、これら障害の根である胃腸粘膜の炎症、糜爛、弛緩を癒し、分泌及び蠕動異常を整へない限り、胃腸機能の更生は期し得ない譯であります。

從つて、かうした病根排除には治療藥**アイフ**の病原對症二重の作用に俟つのが効果的で、主藥が胃腸內壁の瘡面に沈着して炎症を癒し、粘膜を强め、弛緩を引き緊め、分泌及び蠕動異常を整へるとゝもに腸管內の有毒物質を吸著して體外に排泄する等、廣汎なる病原治療を營みますから、胸やけ、噯氣は素より、胃痛、腹痛、下痢、嘔吐、消化不良、食慾不振等慢性胃腸病の不快なる諸症狀をも消退して胃腸機能の健全なる活動を助成する道理であります。

| 藥價 | |
|---|---|
| 四日分 | 七十五錢 |
| 八日分 | 一圓五十錢 |
| 十七日分 | 三圓 |
| 特製十一日分 | 五圓 |

◀全國到る所の有名藥店にあり▶

大阪市東區清水谷西之町
發賣本舖　順和商會
振替大阪三四五番　電話（東）五〇〇〇・五〇〇二・五〇〇三番
東京　東京市本郷區眞砂町九番地
振替東京六二二八八番　電話（小石川）四〇一〇番
大連　大連市山縣通一丁目
振替大連三七六五番　電話七六〇八番

# 郷土の香り豐かに秋まつり近づく
## 境内一面の新裝も悉く成り 早くも漲る慶祝氣分

豐かな郷土の匂ひと彩りをそのまゝに新京市民數萬の神の兒によつてその裝ひも森嚴な神社々頭から街の隅々まで、沸り立つ慶祝氣分で塗りつぶす鎭守の森のお祭りも、いよいよ後旬日に迫つて新京神社では目下多數の人夫が階の築造工事に打振るかなづちの音も丁々と靜かな境内の空氣を揺つてその祭禮準備に忙殺されてゐる、境内の土地の高低が釀し出す排水の地均工事が終れば祭禮當日一段の崇嚴さと晴れやいだ氣分を唆る例の純白の眞砂が打ち敷かれる、去る八月上旬祭禮準備の大工事としてその

### 竣成

を急がれてゐる町内會並びに神社祭具の收容庫および境内背面を繞らす門塀も氏子の寄附一萬五千圓をかけてはや完成に近く、門塀に附隨する北面（平安町側）と南面（常盤町側）に設けられる籬竹三郎、大野恒太郎兩氏の寄附になる二鳥居は團體參拜、平安町、常盤町方面よりの參拜者の便を圖る通り拔け鳥居で既に建立を終り何れも神明鳥居として同社境内に一偉觀を添へてゐる、更に最後の改築工事正面鳥居下の階段の位置變更工事は從來鳥居前面にあつたものを内地官社の樣式に則りこれを機會に鳥居内側に改築するもので

### 同時

に從來のお祭りに見た鳥居下の雜沓は これで大いに緩和されることゝなつた、なほ今祭禮で劃期的な更改を見たものは神輿の輿丁で、從來の輿丁は市中渡御の際やゝもすれば酒興に乘じて市民に迷惑を及ぼす如き祭禮の本旨にもとる行狀などあつたに鑑み、今年度は徴集壯丁約三百名を最後の神社奉仕との建前から輿丁とし、最も嚴肅にその渡御を意義あらしめることゝなつた十四日の宵宮祭には嚴かな式典が執行され十五日は、いよいよ本祭だ、式典は午前八時から、例年通り神社境内では大弓、柔道、劍道、角力生、花の催物、三業組合の姐さん達の余興があれば各町内會の新趣向凝らした樣々の催事が街から街を殷盛な歡喜に沸騰さす、子供御輿も今年は

### 幾組

か增へ、かけ聲勇しく練り歩くが、壯丁の神輿出御は午前九時三十分、この渡御はこれまで附屬地のみに限られてゐたが本祭から特別市の一部にも行き渡ることゝなつた、打あげ花火が一段の興趣を添へ、夜店に露店、晴れ着かざつた老若男女の行き交ひに今祭禮は一段の賑ひを呈すであらう

# お巡りや兵隊さんに綺麗な花の贈物
## "机に飾つて慰んで下さい"と 日曜學校生徒の可愛い奉仕

可愛い少年少女たちが六日午後新京署に色とりどりの草花を一抱へづゝもつて「おぢさん達が毎日曜日學校のゆきかへりに見守つて下さるからお蔭で安心して嬉しい學校へゆけます、これはそのお禮にどうか机に飾つてお慰み下さい」と花束をもつて來た、この少年少女たちは中央通り日本キリスト教新京教會日曜學校の少年少女たちで當日花の會を催し各自神に捧げた花をかねてお世話になつてゐるお巡りさんや御國のため病みつきベットに呻吟せる衛戍病院入院の兵隊さんや、病氣で淋しがつてゐる滿鐵醫院の患者さんたちの慰問のため手分けして贈つたのでこの日ばかりはこわいお巡さん達も可愛少女たちの贈物にほろりとしてゐた

# 公會堂は黒字
## 八月までに五百餘圓實收過

新京記念公會堂八月分の業績は次の通りである

一、各室使用回數並に料金 講堂（二三回）一、二〇〇圓集會室（總計一〇一回）四四七圓五十錢合計（一二四回）一、六四五圓五十錢

二、講堂使用種目並に回數 甲（試驗）二回 乙（講談、映畫）一四回 丙（浪曲、漫才、詩吟、溫習、舞踊）七回合計延回數二三回

なほ市民の公會堂利用狀況は毎月殆ど前年度と符節を合せた如く、八月分も講堂使用日數は前年度と同じく十七日間であるが、室貸料は昨年に比べ百二十圓の不足である、本月まで五ヶ年間の收支平均は三千二百十八圓の收入過で昨年も殆ど同じく三千九十五圓であつた、豫算月割額本月までの累計額と實收との比較は五百七十八圓の實收過で經營狀態はすべて順調である、然して前記黒字の内三千圓を借入金償還に當て現在銀行借入金は一萬二千圓となつてゐる

# 北海道江差町地方 豪雨被害

【函館國通】五日夜半から七日朝にかけて北海道南部地方に低氣壓來襲し物凄い豪雨を見たが六日午前八時頃檜山郡江差町津花町裏山崩壞し流失せる土砂の爲住宅二棟押流され二名重傷を負ひ又同日午前一時爾志郡熊石村相沼内川の堤防決潰し子供三名行方不明となり同午前八時五十分頃檜山郡泊村大字伏木戸村土手も土砂崩壞し二名壓死を遂げ其他負傷者多數ある模樣である

# 今夏のビール
# "ほろ醉ひ"の都
## 消費量一人平均三本 斷然好評の滿洲サッポロ
## 來年は安くなるか？

一雨ごとに秋風たつて漸くビール黨のシーズンも過ぎかけたがさて六、七、八月と三ヶ月に亘る國都のビール消費高はどの位に昇つたかと言ふと約五萬箱二十萬打と言はれるから大したものだ、國都の人口約三十萬人としても一人平均毎日二本半乃至三本宛ビールの泡に陶然となつてゐるわけで正にビールならでは夜が明けぬそこでシーズン最初今年始めて賣り出された滿洲産サッポロビールが内地輸入品と同値段だと言ふのでビール黨に兎や角言はれたが、斬新な製造法と何よりの强味はその新鮮味で可成の好評を博し本年既に五萬箱の製品の中一萬箱は新京で痛飲せられ、なほ全滿では製品不足をつげた、なほ最もビール黨にとつて關心せられるのは滿洲産ビールが輸入品に對してもつと安くならぬかと言ふ點であるが、これは來年度から滿洲麥酒第二工場でキリンの製品が出た上でないと何とも言へぬさうである

×　×

# 愈よ電波に乘る—新進伎藝家の聲
## 十一日より 本社主催"新人放送"

隱れた有能伎藝家を世におくり出すべく本社ではさき頃新京放送局と共同主催の下に「第二回演藝放送新人募集」を行ひ、各種目に亘る多數應募者中より在京權威者を網羅せる詮衡委員の嚴重テストを經て既報の如く獨唱、詩吟、ハーモニカ、小唄、端唄、俚謠、漫談、物語の八種目十七名の當選者を決定したが、これら當選新人による放送日期に關してはその後放送局側と打合せ中のところ愈よ來る十一日を第一日目とし、十二、十四、十七、十八の五日間に亘つて建國記念放送中の時間プロとして電波に乘せることに決定した、輝やかしい新人の名による此の待望の發溂眞摯なる秘藝の公開こそ寂漠たる滿洲伎藝界に清新の氣を注入するものであると同時に、大きく滿洲ラヂオ文化向上の一端に大いな役割を記すものとして期待されるところが大きい

# 職業婦人の爲に婦人寮を設置

國都の發展に伴ひ各機關の增設につれ職業婦人の數は甚しく增加したがこの婦人を容れる婦人寮の如き設備は未だなく職業婦人自身も非常に不便を感じてゐる現狀に鑑み修養團滿洲支部では近く新京に婦人寮を設立すべく準備を進めてゐるが實現の曉は大いに利用されるものと期待されてゐる

# 忠靈塔秋季例祭 式次第決定

新京忠靈塔秋季例祭は小笠原數夫中將を祭典委員長に十八日午前九時より忠靈塔前に於て嚴肅且つ壯嚴に執行されるが式次第は左の如く決定した

一、諸員着席（午前八時五十五分）
一、來賓着席
一、軍司令官着席（午前八時五十八分）
一、神官着席
一、開式を宣す（午前九時）

先 修祓
次 降神（此間警奏樂）
次 獻饌（此間奏樂）
次 祝詞奏上
次 祭文奏上（祭典委員長）
次 同（軍司令官）
次 玉串奉奠

1、神職2、祭典委員長3軍司令官兼全權大使（全員起立）4、滿洲國侍從武官（同上）5、遺族代表（三橋康豐）6、陸軍代表（關東軍參謀長）7、海軍代表（駐滿海軍部司令官）8、大使館代表（守屋參事官）9關東局代表（武部總長）10滿鐵代表（河本理事）11、滿洲國代表（國務總理大臣）12、傷病軍人代表（吉田勉）13、在鄕軍人代表（五十嵐分會長）14、官民代表（中野總領事代理）15、聯合防護團代表（武田聯合防護團長）16、國防婦人會代表（守屋華都子）國防婦女會長（韓市長夫人）

次 撤饌（此間奏樂）
次 昇神（此間警奏樂）
次 祭典委員長挨拶
諸員退下

なほ同祭典の御供物は例により地事社會係で便宜取扱つてゐるが此の際各方面よりの申込を希望してゐる

# 森、陳兩君の表彰式擧行

滿洲電業新京支店營業課電路係員森正金、陳廣玉兩君は去る六月十二日城内大馬路に於て配電線工事中共同作業中の同僚長野卯平君が不幸高壓線に觸れ電擊將に墜落せんとせしを身の安危を顧みず協力果敢柱上に長野君の危難を防禦し大過なきを得た行爲は平素の友愛犧牲の崇高な心事の現はれとし全社員痛く稱讚、七日午前十一時半新京支店屋上に會社重役以下幹部列席の下に吉田社長より兩君に對し彰狀並金一封を授與以て其の行爲を稱揚した

# 御詠歌を唱へて慰問金を募る
## 奇篤な五人の兵隊婆さん

市内羽衣町三丁目十二號ノ二喜來シマ（六五）同二丁目八號ノ四眞崎ミマ（五六）露月町三丁目六十五號ノ二松岡シズ（六四）錦町二丁目八號ノ一井手キク（五三）同一丁目五號ノ二秋山初女（四三）さんの五名は隱居の老軀を提げて去月廿八日から本月六日まで戸毎で御詠歌を唱へて得た淨財七十圓九十二錢を七日午後三時ごろ新京署へ持參し「これを兵隊さんたちの慰問金としてお届けをお願ひします」と届けたので新京署では直ちに關東軍に移送した、なほ同老婆たちは今度で四回目の國防獻金、軍隊慰問金の寄附をなした奇篤な人々である

# 國婦新京支部總會 九日西公園で開催

國防婦人會新京支部では來る九日を以て支部設置滿三周年に當るので當日午後一時より西公園誠忠碑前に於て支部總會を開催すると共に電々會社電業村、靑年學校、關東局の四分會の新設分會旗授與式をなす事となつた、總會終了後會場に於て寶探し、軍用犬訓練狀況の見學をなす筈であるが、萬一雨天の場合は日滿軍人會館で行ふ筈である

# 本社主催
# 戰蹟の清掃を兼ね南嶺淨水池見學
## 飲み水はどうして出來るか 奥樣方に奬め度い一日の清遊

淨月潭の貯水池見學は毎年春秋二回本社の年中行事として一般市民は元より家庭婦人子供さんからも絶大な人氣を博してゐるが、今年も愈よ第三回見學團を近く募集する事になり目下諸般の準備を進めつゝあるが、之に先立ち來る十六日（水曜日）一先づ手近の南嶺淨水池の見學を行ふことゝなつた、同淨水池は遙か遠き淨月潭貯水地から送られてくる水が如何なる經路を辿つて我々の口にする事が出來る樣になるか一目瞭然に分る所であるので家庭の臺所を預る主婦達には特に見學を奬めたい所である、同所は國都建設局が總經費約八十萬圓を投じ昨年六月漸く竣工したもので、その給水能力は二十萬人と稱せられてゐる、また淨水池見學を兼ねて我が尊き勇士の英靈眠る南嶺戰跡參拜も行ふが、これには戰跡に就いての詳細な説明があつて當時の激戰の跡を偲ぶと共に、思ひ出新たな十八日の事變記念日に先驅けて墓地及び其の附近の清掃淨化の雜草取りを行ふ事になつて居り一層有意義な企てとして期待されてゐる、なほ清掃道具は本社に準備する事になつてゐる、希望者は別項（朝刊一面所載）細則諒承の上應募されん事を望む

# 張國務總理 社會事業、實業協會出席者招宴

張國務總理大臣は來る十日午後五時より中央飯店に第三回日滿社會事業大會出席者約五百名を、又十五日には午後六時より同飯店に第四回日滿實業協會總會出席者約四百名を招待することとなつた

# 赤十字新京支部 總會記念品到着

日本赤十字社新京支部社員總會は來る十月六日西公園内に於て擧行されるが當日參列社員に贈呈する記念品は七日同支部に到着した、該記念品は特別社員以上の分と普通社員の分とに區別せられ金屬製の灰皿にして又少年赤十字團員の分とに區別せられ金屬製の灰皿にして又少年赤十字團員の分は金屬製栞にして何れも高尚優美のものである

# 千葉軍曹の慰靈祭執行

過般安東省撫松附近の戰鬪に名譽の戰死を遂げた陸軍步兵軍曹千葉勝男氏（岩手縣出身）の慰靈祭は布施部隊の主催にて十日午後一時三十分から新京敷島高女講堂で執行される

# 附屬地區長會議

新京附屬地區長會議は八日午前九時から滿鐵綜合事務所二階會議室で開催されるが議題は一、九月十八日記念催物に關する件、二、聯合町内會費に關する件、三、其他である

# 小見山少將外五將校送別會

新京總領事、同特別市長、同地方事務所長が發起人となり來る十三日午後七時からヤマトホテルで前警備司令官小見山少將、同副官黒須少佐、前警備隊長靑木大佐、同隊附藤岡少佐、同大隊長原田少佐、同隊副官山本少佐の送別會を催す會費五圓會券と引換申込みは十二日午後四時迄に新京地方事務所庶務係へ

# 長春寺童話會

市内曙町長春寺では八日午後六時から京都佛教專門學校兒童教化部員井川定澄氏、高祖諄哲氏兩師の童話の會を催す小學校生徒多數來聽を歡迎するさうである

# 龜井大僧正來京

本門佛立講の駐滿皇軍慰問團大僧正龜井日聲師以下僧侶信者一行十四名は大連の日程を經へて來る十二日午後五時三十分着「あじあ」で來京、十二日午前忠靈塔において盛大な慰靈法要を執行の上十三日午後十一時發赴哈の豫定

# スタムバーク北支へ

【奉天國通】昨日來奉一泊したハリウッドの名監督ジョセフ・フオン・スタンバーク氏は午後二時發直通列車で北支に向つた

# 大阪實業組合 一行來京

來る十一日午後二時着列車で吉林から來京する大阪實業組合聯合會滿支産業視察團團長中山太一氏外一行百七十名は十二日午前十時から豐樂路中央飯店にて新京商工會議所斡旋の下に懇談會を開催、當地商工團體首腦者と隔意なき懇談を交へる筈である、なほ一行は十三日午前七時發列車でハルビンに向ふと

# 精養軒美給連挨拶に來社

滿八周年を迎へた東二條通りのカフエー精養軒では大々的に自祝の催しをやつてゐるが七日マネージヤア同道美智子、里美、彌生、綾子、深雪、直美、かほる、八重子、米子等の連中が挨拶に本社來訪した

# 喫茶第二太陽

市内東三條通りと曙町の交叉點臨坂ビルの階下角に喫茶店第二太陽が八日華々しく開業した、同店はダイヤ街喫茶太陽の支店で店は小さいが美女給が多數ゐてサービス大に努めてゐる

# 大連實業京城に快勝 6—0

【大連國通】外地都市對抗野球第二日、京城對大連實業戰は六日午後三時半より實業球場にて實業先攻で開始、結局六對零で實業快勝す

▲バッテリー
實業 岩瀬—迫幡
京城 李、橋本、中島—高野

▲スコアー

| | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 實業 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 0 | 6 |
| 京城 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

# 電々總裁杯爭奪庭球戰 十三日開催

新京體育聯盟、滿洲國體育聯盟主催、本社後援の電々總裁杯爭奪各ケ所對抗庭球試合は十三日午前九時から電々社宅コートで開催されるが出場チームは一ケ所三チームとし申込料は一ケ所一圓、出場希望者は滿鐵地方事務所社會係へ申込まれたいと

# 滿鐵各寮對抗相撲大會

滿鐵社員會新京聯合會運動會新京支部主催寮對抗相撲大會は二十三日午後二時から西廣場小學校庭相撲場で擧行されるが出場選士は各寮代表五名とし試合方法はトーナメントで行はれる

東京市淺草區北三筋町生れ鳶職西尾信一（四九）は七日朝十時といふのにどえらい景氣で酒の香をプンプン香はして刑事室に同行され、取調官に「何いつてるんだいべらぼう目ッ」と歯切れのよい江戸つ兒辯で啖呵を切つてゐた▼彼は三年前から新京にやつて來たが職はなし、方々の邦人宅を訪れてはゆすつて金錢を强要してゐた男で▼七日も吉野町五丁目某朝鮮人宅で白酒を御馳走になつて泥醉して附近を徘徊中署員に見つかつたのである▼鳶も油あげをさらふ分にはいゝが、白酒ぢや此の始末だ

## 妖魔往來

（續上演）　桃川燕二演　内山鉦太郎畫

**四五**

お伝から突きつけられてゐる、お鶴は、一時も早く、伊之助と夫婦になるためには、折があつたらお伝からもらつた砒石の毒を用ひ、お志津の生命を奪はうと考へてゐた。

ところが此の頃になつてお志津が俄の工合が悪かつた、何の病気と知らず夜になると腹の上を、何物かに押へられてゐる様な工合で一と晩もよく熟睡が取れません。

是は番助が隣の座敷で邪神を祀つてお志津を祈り殺さうとしてゐるからで、夜眠られないから頭がガンガンと痛んで果は、烈しく眩暈に悩まされる、二日三日四日と此の工合の悪いのが続いて来ると衰へ、寝込むやうな事になる。

父親は老病の床にある、伯母は少しも其病気を知らぬ、自分がなくては誰も看伴つて看病する人もない、寝込んでは大変だと思つて我慢に我慢をしてゐたが迚も堪りませぬので段々寝込んでしまつた。

頼むべきはお鶴で、伯父さんの頼りが利いて来た、この按配なら何もお鶴を玉に使はなくても好かつた今に往生してしまふだらうと内心笑を含んで居ります、表面は驚いた様で困つた事が出来た、病人の世話はお前でなくては仕様がない、早速医者が来て診察をしたが何の病気と分りません兎に角お薬といふので散薬をくれた、新しい病人が出来たと云ふので、辻屋を初め稲田屋越後屋などが見舞に来たが、是は主に五左衛門の方へ行つてゐる、主としてやるのはお鶴でございます、誠に伊之助千万で、殺さうと思つてゐる女の看病を受けるのだからたまりません。

「お鶴さんや一寸伊之助さんを呼んでおくれ」

「又伊之助さんですか、私では用が足りませんか」

「イエお前さんで足りぬ訳ではありませんが、一寸話が在るから連れて来てお呉れ」

「ヘイヘイ」

失敬な奴で主人同様のお志津に向つて二つ返事だ。

それに伊之助と云ふと直に嫉妬の焔が燃え立つ。

お志津の方では伊之助を何とも思つてゐない、只奉公人の内で親父の親類だから外の者より真事に親切だと思ふだけの事で、清い眼鏡をかけて物を見れば清く見える、嫉妬の目でお志津と伊之助を見て、何事も己れの心に比べて悪くと云ふはイヤ早や言語同断

「エ、お嬢さん御用でございますか」

是は時々自分の女房だと思ふから目付が違ふ

「あの伊之助、私の病気は何だらう、お医者様も分らぬと云ふし、自分でも何處が悪いと思ふ所もない只一日増しに体が疲れて来る、段々痩せて肉が落ちて行く、何うも合点が行かぬが、是はとても癒らぬ病気かしら」

「そんなお心弱い事を云つてはなりません、お年もお若いし少し好いとなれば、直に癒ります、何うぞお薬を煎出してお飲みなすつて、どれ、私がお加減を見てきませう」

「伊之助さん、私が見て上げるよもう飲み頃に冷めた様だ」

病人の様子を尻目にかけて、ソッと懐中から取出したのは一包、何か包つてあつたものと見へてポンと茶碗の中へ入れた。

是を飲まうものなら忽ち命を失つてしまふ。

其時茶碗はお鶴の手から伊之助、伊之助からお志津の手に渡された、是が夜の九ツ時分の事

「アヽ誠に好み加減の[illegible]」

とお志津がお茶碗を押戴いた